

令和6年5月28日  
危機管理部

## 令和5年度防災塾の実施状況及び今後の取組み等について

### 1 主旨

区は、平成26年度より「発災後72時間は地区の力で乗り切る」をテーマに掲げ、区内各地区において防災塾を展開している。

今般、防災塾の令和5年度実施状況及び今後の取組みについて取りまとめたので報告する。

### 2 令和5年度防災塾実施状況

#### (1) 実施主体

災害対策課、各総合支所地域振興課、各まちづくりセンター

#### (2) 参加者

町会・自治会、民生・児童委員、PTA、商店街、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、消防団等

#### (3) 実施内容

国立研究開発法人防災科学技術研究所、せたがや防災NPOアクション、世田谷ボランティア協会等の職員を講師に迎え、地区防災計画に掲げた課題と対応策の検証や取組みを実施。

詳細は、「令和5年度防災塾報告書」を参照。

#### (4) 最近の実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施予定箇所数	28箇所	28箇所	28箇所
実績	27箇所	28箇所	28箇所

### 3 今年度の取組み

#### (1) 概要

地区防災計画の修正を目的として、各地区の実情にあわせて、ワークショップ方式をはじめ、図上訓練やまち歩き等の多様な手法を用いて実施する。

#### (2) 在宅避難の推進と指定避難所運営の見直しについて

- ・実施にあたっては、適切な避難行動の知識（在宅避難の原則）や在宅避難のための家庭での備えなどの普及・啓発をあわせて行うものとする。
- ・また、指定避難所運営の見直しに向けた取組みをあわせて周知することにより、避難所運営にかかる課題への理解と、運営への協力を地区で広げるための機運醸成に努めるものとする。

#### (3) 今年度の実施日程（予定）

裏面参照

令和6年度防災塾の実施日程（予定）

（令和6年5月21日現在）

地域	地区	日程	時間	場所
世田谷	池尻	(調整中)		
	太子堂	1月18日(土)	9:00～	三茶しゃれなあど
	若林	(調整中)		
	上町	(調整中)		上町まちづくりセンター
	経堂	9月28日(土)	10:00～	桜丘区民センター別館ホール
	下馬	11月23日(土)	(調整中)	下馬区民集会所
	上馬	(調整中)		上馬まちづくりセンター
北沢	梅丘	(調整中)		
	代沢	(調整中)		
	新代田	(調整中)		
	北沢	(調整中)		
	松原	(調整中)		
	松沢	11月頃	(調整中)	
玉川	奥沢	2月頃	(調整中)	
	九品仏	(調整中)		九品仏まちづくりセンター
	等々力	3月	(調整中)	(調整中)
	上野毛	(調整中)		
	用賀	(調整中)		
	二子玉川	8月31日(土)	9:30～	二子玉川まちづくりセンター
	深沢	(調整中)		
砧	祖師谷	(調整中)		
	成城	9月11日(水)	13:30～	成城ホール
	船橋	(調整中)		
	喜多見	7月下旬	(調整中)	喜多見東地区会館
		9月24日(火)	14:00～	喜多見東地区会館
	砧	9月15日(土)	10:00～	都立砧公園
烏山	上北沢	(調整中)		
	上祖師谷	(調整中)		
	烏山	(調整中)		

# 令和5年度 防災塾 報告書

世田谷区

# 目 次

## 防災塾概要

頁

防災塾概要	1	防災塾参加団体・主な講師	3
令和4年度 防災塾 実績一覧	2		

## 防災塾 報告書

### 世田谷地域

池尻	4
太子堂	23
若林	35
上町	39
経堂	54
下馬	84
上馬	87

### 北沢地域

梅丘	93
代沢	100
新代田	110
北沢	116
松原	123
松沢	130

### 玉川地域

奥沢	145
九品仏	159
等々力	167
上野毛	170
用賀	189
二子玉川	221
深沢	245

### 砧地域

祖師谷	287
成城	299
船橋	303
喜多見	307
砧	311

### 烏山地域

上北沢	314
上祖師谷	327
烏山	334

## 防災塾概要

### 1 趣旨

区では、新実施計画において、「地区防災計画」の策定等の支援を目指して、防災塾を展開していくこととしている。

平成26年度の防災塾については、「発災後72時間は地区の力で乗り切る」をスローガンに掲げ、区の地域防災計画上の防災資源や被害想定等を確認したうえで、区内27地区において災害時に想定される様々な課題発見を行った。

平成27年度は、前年度に議論した災害時に想定される様々な課題に対する対応策の検討を中心に実施し、平成28年度は、これまでの議論を踏まえ、地区防災計画（案）を作成した。

平成29年度以降は、地区防災計画に掲げた課題と対応策の検証や取組みを実施し、令和5年度においては、地区防災計画の検証・ブラッシュアップを行ったところである。

### 2 実施内容

#### (1) 実施主体

災害対策課、各総合支所地域振興課、各まちづくりセンターが役割に応じて運営。

#### (2) テーマ

「発災後72時間は地区の力で乗り切る」

#### (3) 実施内容

地区防災計画に掲げた課題と対応策の検証や取組みの実施等

#### (4) 対象者

地区情報連絡会メンバー及び公募等による区民

### 3 スケジュール

#### (1) 防災塾実施 令和5年度防災塾実績一覧参照

#### (2) 報告会

地域	日程	開催場所等
世田谷	令和6年3月15日（金）	書面開催
北沢	令和6年3月18日（月）	北沢タウンホール4階活動フロアー
玉川	令和6年3月18日（月）	玉川区民会館集会室
砧	令和6年3月26日（月）	砧総合支所4階 集会室E
烏山	令和6年3月12日（火）	烏山総合支所4階 第4会議室

## 令和5年度 防災塾 実績一覧

(敬称略)

所属	日程	時間帯	講師等	場所	参加人数	
世田谷	池尻まちづくりセンター	1月28日(日)	午前	せたがや防災NPOアクション	池尻まちづくりセンター3階 第2会議室	41
	太子堂まちづくりセンター	1月14日(土)	午前	国立保健医療科学院 浅見 真理	三茶しゃれなあと スワン・ビーナス	46
	若林まちづくりセンター	10月8日(日)	午前	一般社団法人東京都マンション管理士会	若林まちづくりセンター活動フロア	21
	上町まちづくりセンター	①11月25日(土)	午前	東京都水道局	上町まちづくりセンター3階活動フロア	44
		②2月17日(土)	午前	聖心女子大学現代教養学部教授 岩田 一成	上町まちづくりセンター3階活動フロア	39
	経堂まちづくりセンター	11月25日(土)	午前	せたがや防災NPOアクション	桜丘区民センター別館ホール	30
	下馬まちづくりセンター	11月18日(土)	午前	せたがや防災NPOアクション	下馬区民集会所	50
上馬まちづくりセンター	1月24日(水)	午前	東京都下水道局	蛇崩川増強幹線工事現場(区立丸山公園内)	32	
北沢	梅丘まちづくりセンター	12月3日(日)	午前	せたがや防災NPOアクション	梅丘地区会館 第1・第2会議室	30
	代沢まちづくりセンター	2月8日(木)	午後	講師なし	代沢まちづくりセンター活動フロア	45
	新代田まちづくりセンター	11月12日(日)	午後	せたがや防災NPOアクション	新代田まちづくりセンター地下体育室	26
	北沢まちづくりセンター	1月20日(土)	午前	防災クッキングアドバイザー 鈴木 佳世子 第一三共ヘルスケア株式会社	北沢タウンホール 12階スカイサロン	28
	松原まちづくりセンター	3月5日(火)	午後	せたがや防災NPOアクション	梅丘パークホール	31
	松沢まちづくりセンター	12月15日(金)	午後	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	日本大学文理学部 本館2階 会議室A・B	61
玉川	奥沢まちづくりセンター	2月29日(木)	夜間	せたがや防災NPOアクション	奥沢まちづくりセンター活動フロア	46
	九品仏まちづくりセンター	3月19日(火)	午後	社会福祉法人世田谷ボランティア協会	九品仏まちづくりセンター活動フロア	27
	等々力まちづくりセンター	2月4日(日)	午前	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 李 泰榮	尾山台中学校	45
	上野毛まちづくりセンター	12月14日(木)	午前	せたがや防災NPOアクション	上野毛地区会館 大会議室	27
	用賀まちづくりセンター	2月28日(水)	夜間	せたがや防災NPOアクション	用賀まちづくりセンター活動フロア	34
	二子玉川まちづくりセンター	3月2日(土)	午前	せたがや防災NPOアクション	二子玉川まちづくりセンター 3階活動フロア	34
	深沢まちづくりセンター	①12月11日(月)	午前	せたがや防災NPOアクション	深沢まちづくりセンター活動フロア	28
②3月15日(金)		午後	社会福祉法人 世田谷ボランティア協会	深沢まちづくりセンター活動フロア	25	
砧	祖師谷まちづくりセンター	3月16日(土)	午前	社会福祉法人 世田谷ボランティア協会	祖師谷区民集会所 第1会議室	34
	成城まちづくりセンター	1月24日(水)	午後	東京防災セミナー	成城ホール	31
	船橋まちづくりセンター	2月17日(土)	午後	せたがや防災NPOアクション	船橋まちづくりセンター活動フロア1	31
	喜多見まちづくりセンター	7月28日(金)	午前	東京消防庁 成城消防署 警防課 喜多見まちづくりセンター所長	喜多見東地区会館 第1・2会議室	40
	砧まちづくりセンター	9月24日(日)	午前・午後	講師なし	都立砧公園	2030
烏山	上北沢まちづくりセンター	1月20日(土)	午前	社会福祉法人 世田谷ボランティア協会	上北沢まちづくりセンター地下活動フロア	22
	上祖師谷まちづくりセンター	12月9日(土)	午前	せたがや防災NPOアクション	粕谷区民センター2階多目的室	29
	烏山まちづくりセンター	11月25日(土)	午後	せたがや災害ボランティアセンター	烏山中学校ランチルーム	15
				合計	3022	

## 防災塾参加団体について

地区の特性に合わせて以下のような様々な団体が参加している。

町会・自治会、身近なまちづくり推進協議会、民生・児童委員、おやじの会、PTA、商店街、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、消防団、消防署、警察署、NPO、ボランティア団体、小学校、中学校、高校、区内大学、事業所、赤十字奉仕団、公募による区民等

## 防災塾の主な講師について

### 世田谷ボランティア協会

『せたがや災害ボランティアセンター』は、2005年に開設され、“いつかくる”大災害に備えて、「防災」「減災」「災害時にボランティアを受け入れるシステム作り」などに取り組むために常設された組織である。震災時に災害ボランティアと被災した人の要望を『つなぐ』マッチングコーディネーターを養成するため、大学や町会・自治会等と協力して養成講座を行っていく。

### せたがや防災NPOアクション

平成26年度に、主に区内のNPO同士が、平時から連携して震災対策に臨むことを主旨として設立した。区内で活動するNPOが震災時の応急対策において、どのような位置付けで活動するのかをテーマに、区内NPO等に参加を呼びかけ、事前に顔と顔が見える関係を構築できるような取組みを推進している。

### 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

災害から人命を守り、災害に強い社会の実現を目指している研究所。災害発生メカニズムの解明、災害発生による被害の軽減策、個人・地域・行政がそれぞれ持っている知識・知恵を合わせて「防災」を計画・実行する手法やシステムの研究開発を行っている。世田谷区の防災塾において、地域住民自らが災害時の地域課題と対策を検討することができる「地区防災計画作成手法」と、それを支援するツール「地域防災キット」を各区に提供・支援している。

## 令和5年度 池尻・三宿地区防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課  
池尻まちづくりセンター

**(1) 実施日**

令和6年1月28日(日曜日) 10:00~12:05

**(2) 会場**

池尻まちづくりセンター3階 第2会議室

**(3) 講師**

せたがや防災NPOアクション 宮崎 猛志 氏

**(4) 参加人数：41名**

内 訳：参加者30名、NPO2名、あんしんすこやかセンター職員1名、  
区職員8名

参加団体：管内8町会・自治会、三宿つくしんぼホーム、あけぼの学園、日赤池  
尻分団、民生委員・児童委員、食糧学院、世田谷警察署(ふれあいポ  
リス)、世田谷消防団第一分団、池尻小学校PTA、三宿小学校、三  
宿小学校PTA、多聞小学校、多聞小学校PTA

**(5) テーマ**

『～避難所運営を考える 避難所運営ゲームHUG～』

**(6) 実施内容**

開会(10:00~10:05)

事前講義(避難所運営の実情。直近の事例を交えて)(10:05~10:20)

事前説明「世田谷版HUGについて」(10:20~10:25)

図上演習(図面・配置確認)(10:25~10:40)

演習(本番)(10:40~11:30)

振り返り(11:30~11:40)

講評、質疑応答(11:40~12:05)

閉会(12:05)

## (7) 成果物

～ 開会、事前講義、説明

講師による講義



～ 演習、振り返り

演習、振り返りの様子



## 演習、振り返りの様子

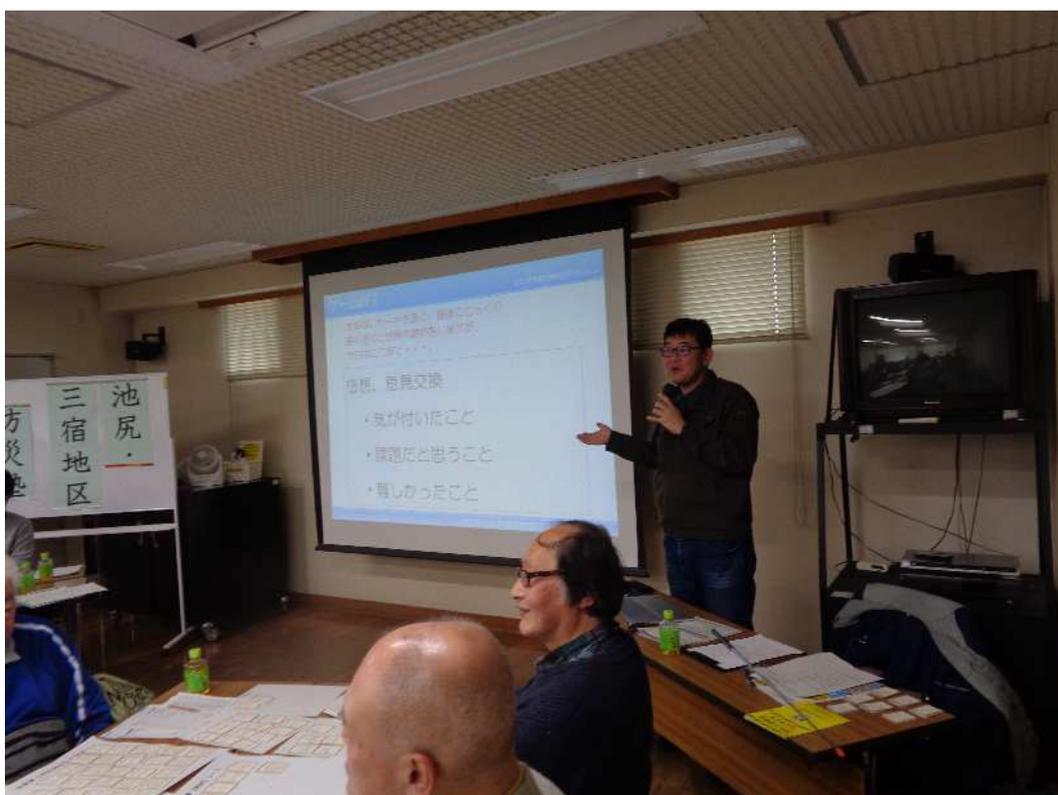


## 参加者感想



## 講評、質疑応答

### 講師による講評、まとめ



- ・本日参加の皆さんは、避難所運営におけるマネージャーとして動いていただく。一般避難者などの方に、プレーヤーとして動いてもらう。
- ・避難所運営では、情報の集約が大事。例えば避難者への情報提供のための掲示物が膨らみ、必要な情報が得にくくなったりする。また、「拠点隊」であり、区（災害対策本部・災対世田谷地域本部）と各避難所を繋ぐ、池尻まちづくりセンターとの連携も重要。
- ・避難所運営にあたっては、NPOなど外部の力も借りつつ、ルールづくり、運営の組織化が大事。
- ・避難所のリーダーには迅速な判断が求められる。もし支援の申し出があったら断らず、即決すべき。
- ・避難所でマスコミの取材を受けると、マスコミ関係者が多数押し寄せるなど、避難所生活や運営に支障を来す場合がある。一方で、マスコミに取り上げられることで、支援が入りやすくなる側面もあり、判断が難しいところ。

アンケート集計  
別紙のとおり

5年度

# 防災塾

～避難所運営を考える 避難所運営ゲームHUG～

## せたがや防災NPOアクション

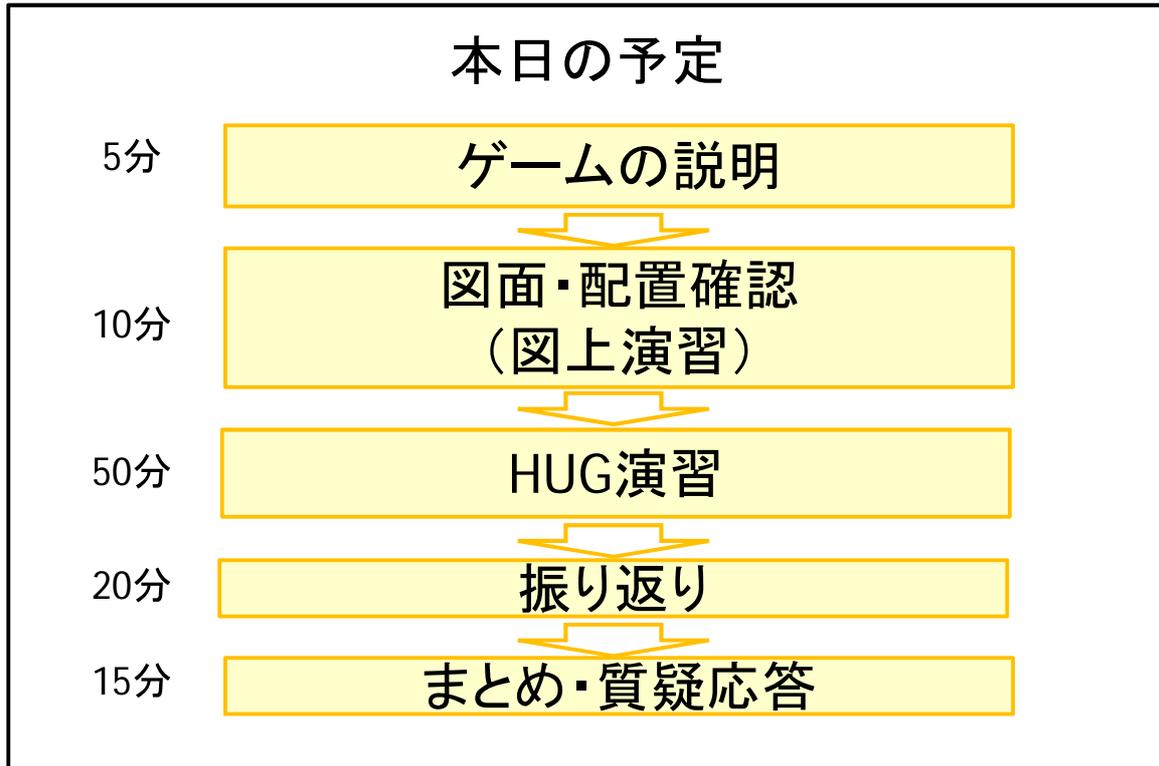
©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## せたがや防災NPOアクション

せたがや防災NPOアクション

区内のNPO団体が、平時より顔の見える関係を築くとともに、発災時においてNPO団体同士の連携が図られるよう、ネットワーク化することを目的に、2014年5月に発足しました。ひっ迫する首都直下地震、激甚化する台風に備え、地域のみなさまとともに、私たちのまちを、災害に強い世田谷をめざし、一緒に活動する仲間を増やしていきたいと考えています。

- 活動テーマごとの分科会の実施－運営
- 全体会の企画・立案・実施
- 訓練（図上演習、情報連絡訓練）の実施
- 区内・区外の支援団体との関係づくり
- 防災塾、イベント・訓練等、地域の方との連携関係づくり
- 4者（区、社協、ボラ協、NPO）による連携体制への協力



## 避難所運営ゲーム HUG (ハグ)

避難者の年齢、性別、国籍、それぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです・・・つまり、

『避難所運営マニュアルの応用訓練』



石巻市立門脇中学校体育館

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## ゲームの仕方

せたがや防災NPOアクション

### 2種類のカードがあります

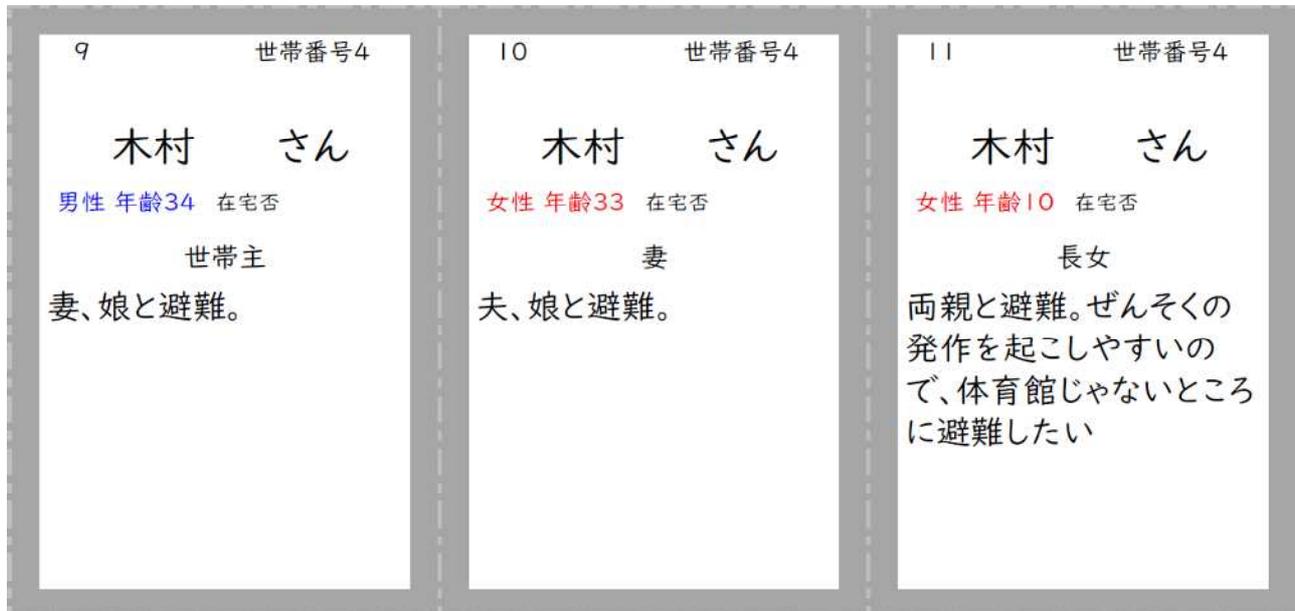
#### ①避難者カード

1	世帯番号1
佐藤 さん	
男性 年齢40 在宅否	
世帯主	
母を連れてきた。父は後からくるはず。	

#### ②出来事カード

3	出来事1
出来事カード	
受付を通過していない避難者がいます。避難者カードを書いてもらいたいのだが、どう説明すればよいですか。	

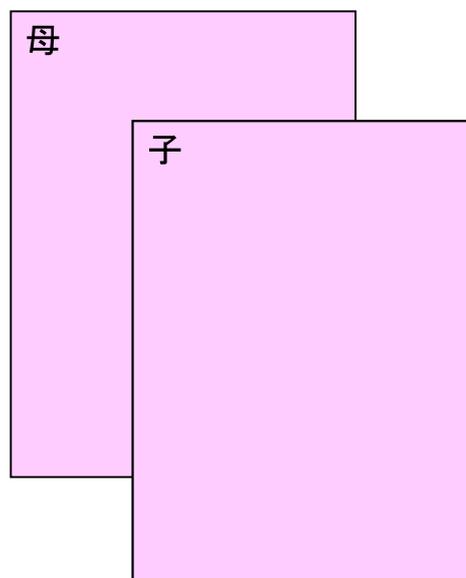
## 家族でも一人ひとりのカードがあります



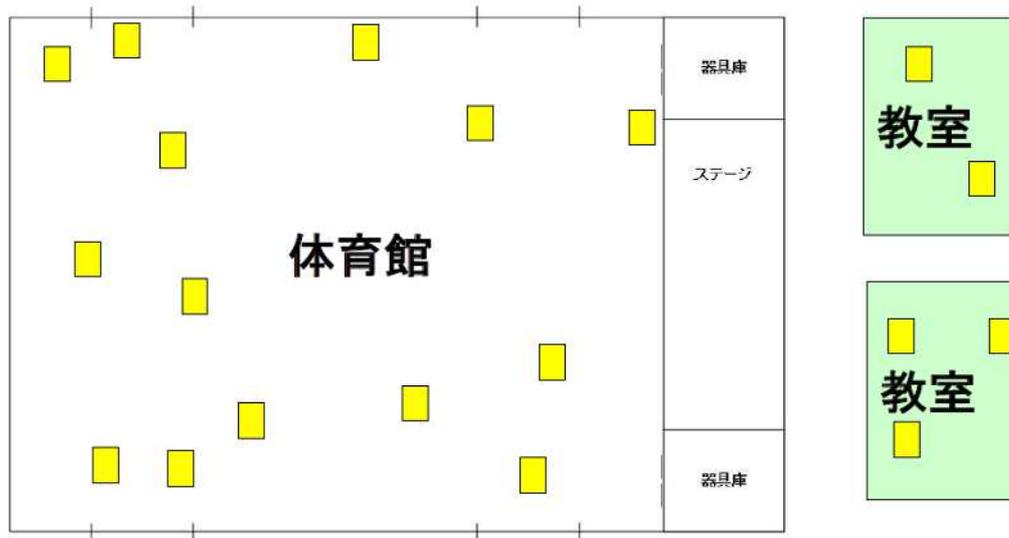
カードの大きさは一人の避難者が必要とする広さです。

## こんなやり方もOK

母子のカードを重ねて置く

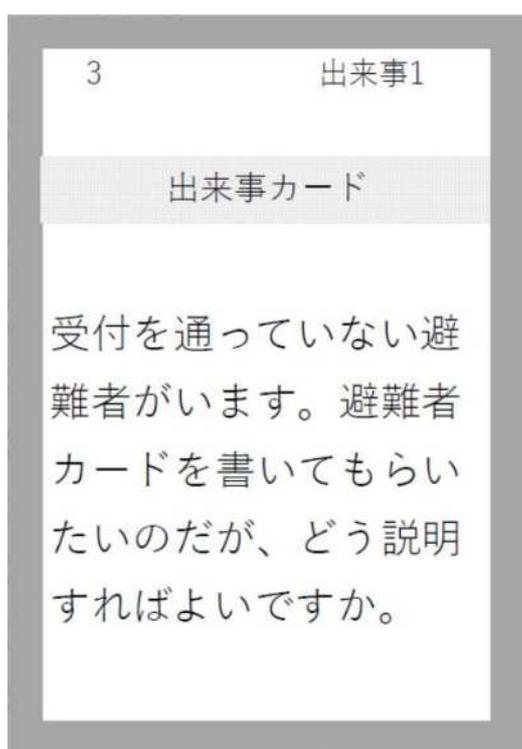


## 避難者カードを配置する



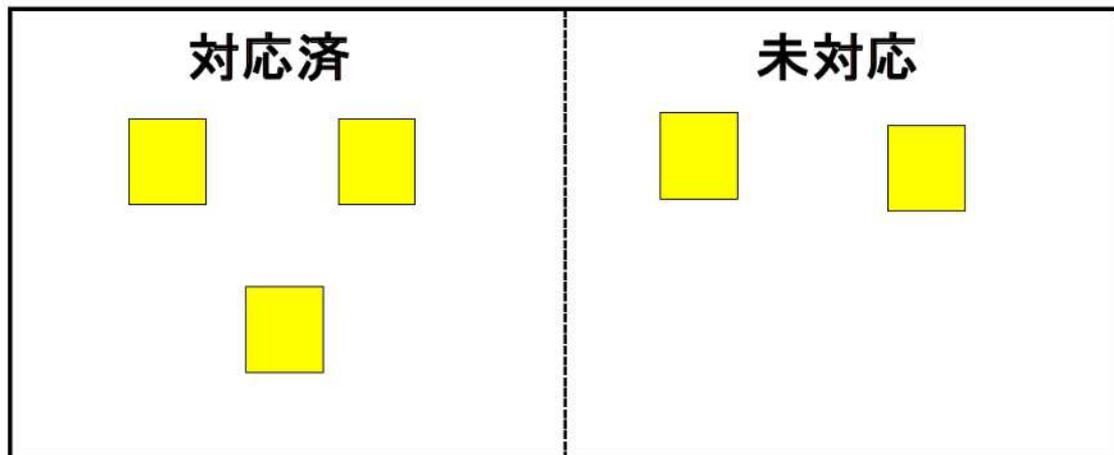
- ・避難者の状況を考慮しながら避難者カードを配置してください。
- ・避難所の**通路**の確保にも配慮してください。

## イベントカード



災害対策本部からの連絡事項、避難者からの質問や要望などがあるので、グループで話し合っ  
て対応してください。

## イベントカード



- ・ イベントカードは対応できたら「対応済」すぐ解決できないときは「未対応」へ置きます。
- ・ 最終的には「対応済」へ移すことができるように話し合ってください。

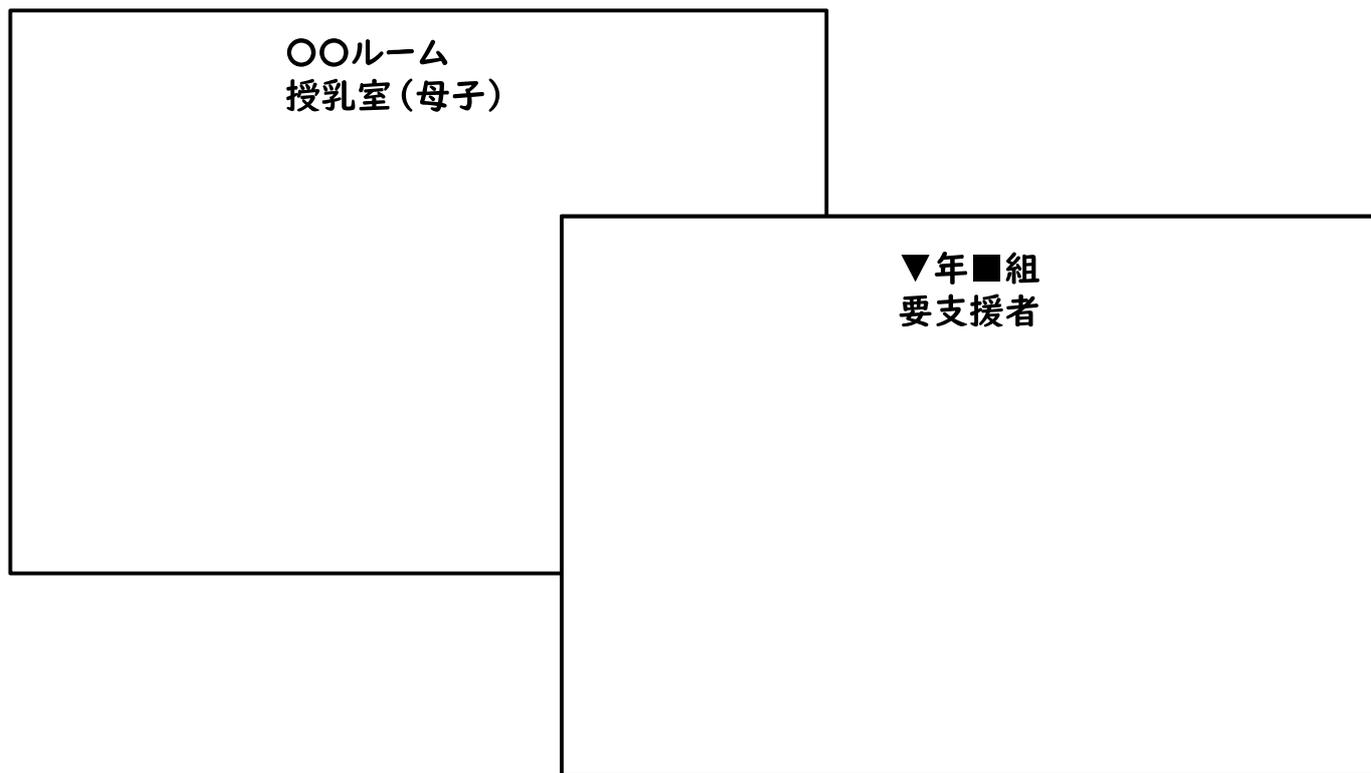
©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 図面・配置確認

せたがや防災NPOアクション

- ・ 机の上に配置された、それぞれの避難所施設の図面を参照ください。

## HUG用スペースの準備



©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 本日のゲーム条件

せたがや防災NPOアクション

- ◆今日、当該学校。午後4時
- ◆午前11時に大地震発生（M7.3 震源東京湾 震源の深さ15キロ）
- ◆ライフラインの状況
  - ・電気、ガス、水道停止、下水道不明
  - ・固定電話、携帯電話とも、つながりにくい
- ◆学校の状況
  - ・児童は下校済み
  - ・校舎、体育館に大きな被害なし、利用可能
  - ・一部の教員、職員は在校中。鍵は開いている。

- 皆さんは避難所の運営をするメンバーです。
- 避難者カードの1番から13番を配置、対応
- 受付、区割り、通路の位置をどうするか等、メンバーで決めてください。

※カードへは書き込まないでください

※カードはテープで貼らないでください

## ゲーム開始

読み上げ係が読んだカードを  
避難所運営メンバーに渡してください。

本来は、カードも多く、最後にじっくり  
振り返りと意見の集約をしますが。  
今日はここまで・・・。

①感想、意見交換・集約 ××分

- ・気が付いたこと
- ・課題だと思うこと
- ・難しかったこと

②各班から発表 各▼分×△班

※振り返りや、質疑応答で発言できなかったことがあった  
場合は、ご記入ください

# まとめ、質疑応答

せたがや防災NPOアクション



# まとめ、質疑応答

せたがや防災NPOアクション



- 避難所運営本部の設置、組織づくり
- 部屋割り、ルール作り、情報の伝達
- 名簿の作成、個人情報の管理
- 取材、問い合わせ対応
- 食料配分、物資の受け入れ
- 在宅避難者への物資配給
- 炊き出し、ゴミ、風呂、トイレ、ペット
- ボランティアの受け入れ      • • • etc

そのほか、事前に決めておいたほうがいいことは？

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

今後各避難所でフルバージョンHUGをしてみましょう。  
“特に考えていただきたいポイントは”

せたがや防災NPOアクション

### (1) 多様な避難者への配慮

- アレルギーのある方、外国人の方、障害のある方など、配慮を要する方への対応
- 性的マイノリティの方への対応  
女性と男性を問わない空間や支援（だれでもトイレなど）
- DV・ストーカー被害者の方への対応  
避難者カードは、名簿に安否確認時の個人情報開示の同意、不同意について記載するなど、取り扱いには注意。

### (2) 役割固定化の防止

- 避難所運営本部の組織化  
—各担当責任者や各担当員については、女性の参画を促すなど、多様な視点を取り入れるための工夫を行う（女性が少なくとも3割以上）  
—特定の活動（例えば、食事作りやその後片付け、清掃等）が特定の性に偏る等、性別や年齢等により役割を固定化しないよう配慮

### (3) 子育て中の家族など

- 妊産婦等が避難生活をする際に備えるべきことを確認
- 授乳室の設置（夜間でも安心して使用できる場所）
- 母子（妊婦・乳児）避難スペースの設置
- キッズスペース（子どもの遊び場）の設置



### (4) 女性、子どもなどへの犯罪防止

- 防犯ブザーの貸出により、女性、子どもなどへの犯罪防止や避難所生活における緊急事態に対する周知のために使用する。
- 特に女性においては、トイレ・仮設風呂付近での性犯罪発生防止の工夫を行う。
- プライバシーを確保できる相談・打合せスペースの活用。

## 見えやすい困り事

- ・妊産婦、乳幼児・・・母子避難所の案内は？
- ・障害者、要介護者・・・福祉避難施設への移送は？人数は？
- ・持病のある方・・・診察可能な病院や処方薬の入手方法は？
- ・外国人・・・宗教上の課題は？相談窓口は？=どこにつなぐ？

## 見えにくい困り事

- ・公的支援プログラム情報がわからない、罹災証明って？
  - ・家の中の片づけは？
  - ・子供を持つ世帯のどのくらいがアウエー育児か？
  - ・食物アレルギー、アナフィラキシー既往症の方は？
  - ・内疾患、精神疾患、普段は薬で対応できていた方は？
  - ・装身具や介護器具等の不具合は？
  - ・プライバシー保護、性犯罪防止、治安を守るためには？
  - ・ジェンダーギャップやLGBT理解は？
- ・・・etc

©2022 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

# 被災生活者支援拠点を支援する

せたがや防災NPOアクション

避難所・被災者支援拠点の運営にかかわる方々、外部支援を頼ってください。

「誰が、何に困っているか」という個人情報はいりません。

「どんなことに困っている人が、何人くらい、いつまでにどれだけ増え・減りそうか」というニーズ情報をください。

世田谷が被災したときの外部支援団体の窓口は「せたがや防災NPOアクション」が担います。

拠点は、世田谷線山下駅隣接の「たまでんカフェ山下」  
 電話番号：03-5426-3737 FAX：03-5426-3738  
 （平時はFAX専用、発災時は電話回線としても使用）

防災塾アンケート用紙（とりまとめ）													
<table border="1"> <tr> <td>日付</td> <td>令和6年1月28日</td> </tr> <tr> <td>地区</td> <td>池尻</td> </tr> </table>										日付	令和6年1月28日	地区	池尻
日付	令和6年1月28日												
地区	池尻												
<b>1-1) ご自身について（性別）</b>													
	①男性	②女性	③未記入等										
数	13	9											
<b>1-2) ご自身について（年齢）</b>													
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上					
数				6	5	5	5	1					
<b>1-3) ご自身について（職業）</b>													
	①会社員	②公務員	③団体職員	④自営業	⑤パート・アルバイト	⑥専業主婦（主夫）	⑦無職	⑧その他	※重複回答あり				
数	3	4	1	2	4	2	6	1	※建築設計				
<b>2 今まで参加した防災塾の開催年度について</b>													
	①令和元年度（平成31年度）以前			②令和4年度	③その他								
数	6			12	3								
<b>3 防災塾に参加して、地域防災について十分な意見交換や議論ができたと思いますか。</b>													
	①十分できている	②ややできている	③どちらとも言えない	④あまりできていない	⑤まったくできていない								
数	4	17											
<b>4 上記の「3」の理由をご自由にご記入ください。</b>													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題が沢山あることが分かりました</li> <li>・時間が短い。年齢層が偏っている</li> <li>・限られた時間の中ではありましたが皆が積極的に意見を出し合い意見交換が出来ました</li> <li>・コロナ禍の為活動が制限され交流があまり出来なかった</li> <li>・はじめてのHUGゲームとても良い経験でした。具体的な課題がたくさん見えたと思います</li> <li>・課題を具体的に浮き彫りに出来た</li> <li>・様々な立場の方から具体的な想定、意見が活発に出され非常に参考になった</li> <li>・まだ防災について勉強が足りない</li> <li>・新たに実践カードによるシュミレーションが出来た</li> </ul>													
<b>5 防災塾に参加して学んだことや気づいたこと</b>													
		数							数				
①自分の地域でどのような災害が起こりうるかわかった。	9	⑤災害時の地域の課題が、地区住民の視点から具体化された。	17										
②自分の地域でどの程度の被害が発生するかわかった。	7	⑥地区のいろんな方のアイデアが集まって、自分たちでできる災害対策が講じられた。	17										
③災害時に自らがとるべき避難行動を理解することができた。	14	⑦参加した地域のいろんな方と関係性が作られた。	15										
④地域防災の考え方（住民の目線から課題と対策を検討する）を学ぶことができた。	18												
<b>6 今後の希望する「防災塾」の進め方について</b>													
		数							数				
①今までと同じく、ワークショップ形式のグループで議論	14	⑥行政の防災担当者により防災対策の実態に関する詳しい説明	14										
②課題や対策のテーマ別に関わる関係者だけがそれぞれ集まって具体的に議論	11	⑦防災専門の先生や被災対応経験者を招いた防災の工夫や事例に関する防災講演	13										
③よりコアな少数のメンバーが集まって地区全体の課題と対策をより具体的に議論	8	⑧地域の課題と対策について、いろんな地区住民から広く意見がもらえる会合	9										
④防災まちあるきや安否確認訓練などの体を動かす体験	7	⑨その他											
⑤課題と対策のアイデアに関する他地区の防災活動の事例紹介	12												

7 地区防災計画制度がつけられたが、本制度の内容はご存知ですか。				
	数		数	
①地区防災計画作成のガイドラインを読んだことがある。	9	④言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない。	9	
②他所の地区で作成された地区防災計画を読んだことがある。	3	⑤全く知らない。	3	
③防災塾で説明を聞いたことがあり、ある程度は知っている。	7			
8 平成29年3月より、地区防災計画を区HPに掲載していますが、ご存知ですか。				
	①知っていた	②知らなかった	③未記入等	
数	6	14		
9 地区防災計画の今後の見直し・検証において、重点的に実施したいと思うこと				
	数		数	
①地域の課題に対し、防災まちあるきを通じた危険箇所や地域資源の発見と整理	9	④検討した対策の実現に向け、地区全体の具体的なルールづくりや担当決め	12	
②初期消火や要配慮者支援等の地域の課題別の防災マップ作成	5	⑤計画に記載している課題と対策に加え、より多くの住民視点からの課題と対策の追加	7	
③検討した対策の実現に向け、協力関係者への声かけと対策方法に関する話し合い	11	⑥避難訓練、消火訓練等、災害時の対策が実現できるか体を動かした検証（実践）	8	
＜その他＞（実施したいことがあれば記入）				
10 防災塾に継続して参加したいと思いませんか。				
	①継続して参加したい	②都合がつけば参加したい	③どちらとも言えない	④あまり参加したくない
数	13	8		
11 「防災塾」のご感想や「災害対策や地区防災計画」に関するご意見・ご要望など、自由にご記入ください。				
・今回具体的な場面を考える事が出来ました。次回も参加したいと思います				
・声かけを広げより広い年齢層に参加してもらうことも必要ではないか				
・具体的なイメージを持つことができ大変勉強になりました				
・起こりうるであろう地震対策など教えて下されば				

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課

太子堂 まちづくりセンター

( 1 ) 実施日 令和6年1月13日(土曜日)午前9時30分～11時30分

( 2 ) 場所 三茶しゃれなあとホール スワン・ピーナス

( 3 ) 参加人数 46人

主催 太子堂地区身近なまちづくり推進協議会、太子堂まちづくりセンター

協力 太子堂地区連合町会

参加団体 (順不同)

太子堂地区連合町会、太子堂地区身近なまちづくり推進協議会、

太子堂地区ごみ減量・リサイクル推進委員会、世田谷消防団第2分団、

青少年太子堂地区委員会、昭和女子大学、中里小学校避難所運営委員会

太子堂小学校避難所運営委員会、民生委員・児童委員協議会、

三軒茶屋銀座商店街振興組合、無印良品三軒茶屋店、

世田谷ボランティア協会、NPO法人まちこらぼ

太子堂あんしんすこやかセンター、太子堂地区社会福祉協議会

区職員12名

( 4 ) テーマ

在宅避難に必要な水と衛生について

( 5 ) 実施内容

開会あいさつ 太子堂地区身近なまちづくり推進協議会 会長 稲田 實

世田谷総合支所長 加賀谷 実

世田谷区避難所運営マニュアルの改定について

説明 世田谷区太子堂まちづくりセンター 所長 廣瀬 丈裕

講演 在宅避難に必要な水と衛生について

講師 国立保健医療科学院 生活環境研究部

上席主任研究官 浅見 真理 氏(中里小学校避難所運営委員)

### ③ワークショップ

・在宅避難をイメージしてみよう!

在宅避難に必要な備蓄物品や各々の行動などについて、各班で話し合う。

意見交換・発表

講評 世田谷区地域振興課長 佐久間 聡

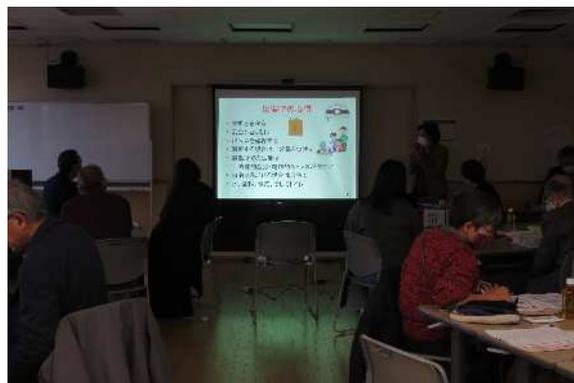
## (6) 成果物

< 当日写真 >

### 1. 第1部 世田谷区避難所運営マニュアルの改定について

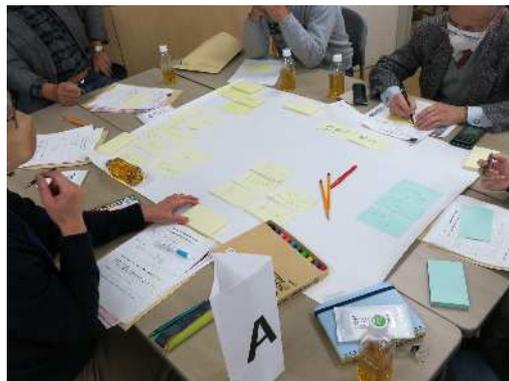
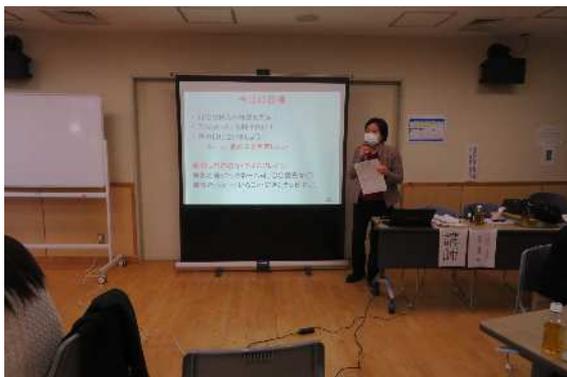


### 2. 第2部 講演在宅避難に必要な水と衛生について



3. グループワーク 在宅避難をイメージしてみよう! グループ構成はランダム  
(グループ検討)

A班



D班



E班



(発表)

B班



C班

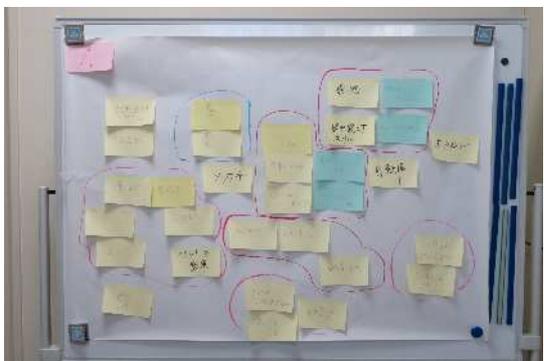


F班

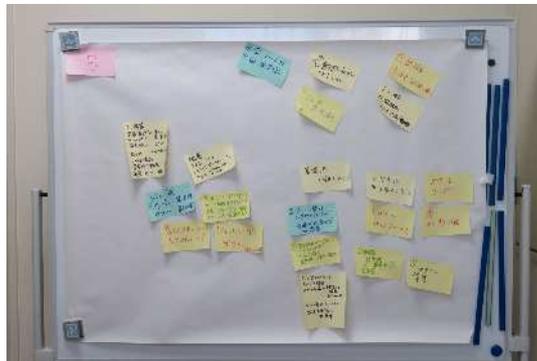


## 4. 各グループ成果物

A班



B班



C班



D班



E班



F班



## 5. 講評



### 【講評】

4年ぶりに意見交換ができる形で実施ができ、大変有意義な時間であったと思う。  
 年頭の能登半島地震について、日々テレビなどで避難所の現状が伝えられているが、近年言われているように、いつどこで震災が起きるかわからない。

能登の避難所の様子を参考に、引き続き避難所運営など地域防災力の向上にご支援、ご協力をいただきたい。

### 防災塾を受けて次年度の取り組み

太子堂地区防災マップの改正

在宅避難に対する支援や情報発信手段などについての避難所運営委員会での検討、マニュアルへの反映

ペット避難への対応

## 【第1部】世田谷区避難所運営マニュアルの改定について

### 避難所運営マニュアル見直しの概要

別紙1

【1】指定避難所運営における課題  
震災の際は、必ず指定避難所に行かなければならないという認識が一般に浸透していることなどにより、避難者が指定避難所に来ることで、適応状況となり、適切な避難所運営が困難となること懸念される。

【2】指定避難所運営マニュアルの見直し  
指定避難所における密集回避と初期期における適切な運営を図るため、被災地における避難所運営支援の経験や知見を持つ関係機関の協力と、避難所運営委員会の意見聴取等に加え、避難所運営マニュアルの見直しを行った。

### 【3】避難所運営マニュアルの見直しの内容

① 構成の見直し	② 見直しを実施した事項
<p>ファーストアクションカードの新設、避難所運営マニュアル（解説版）の新設をはじめ、構成の見直しを行った。これにより、内容の見直しによって複雑化することを避け、わかりやすいマニュアルを目指した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>これまでの構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所運営マニュアル（標準版）</li> <li>【添付】 新型コロナウイルス等感染症対策</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>見直し後の構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 避難所運営マニュアル（標準版）</li> <li>② ファーストアクションカード【新】</li> <li>③ 感染症対策テキスト</li> <li>④ 避難所運営マニュアル（解説版）【新】</li> </ul> </div> </div> <p><b>詳細</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「自宅避難が可能な方」に「避難所生活が困難な方」の考え方を併記し、避難所生活が困難な方への対応方法</li> <li>具体的な避難の安全確保方法</li> <li>避難所生活による避難参加の促進について</li> <li>「ボラティア・NPO等との連携、連携体制」</li> <li>新型コロナウイルス感染症の発生時への対応など</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>初期期のレイアウトの工夫【新】</b> 震災直後に多くの避難者が避難所に来ることにより、すべての避難者を受け入れることが困難となること懸念される。また、限られた時間での開設準備は避難所運営委員会の負担が非常に大きい。こうしたことから、震災直後の初期期に限り、短時間で設営でき、避難者を安全に受け入れることを優先したレイアウトの例を掲載した。 ●設置の設置作業をなるべく減らす（あとで設置すればこと足る設置についてはあと回しにする） ●女性や乳幼児専用の区域、要配慮者の滞在スペースは標準的なモデルと同様に設置するが、状況が落ち着くまでは一般の滞在スペースの世帯当たりのスペースの割当りはしない など</li> <li><b>初期ボックスの導入【新】</b> 避難所の施設的安全性確保、開設準備を始めるにあたり必要となるものをまとめたボックスを令和5年度から導入することとし、その説明を記載した。</li> <li><b>既設トイレの使用確認の方法の見直し</b> 建物内の下水の配管が水漏れやつまりがなければ既設トイレを使用すること。また、下水道管が管轄する公共の下水管が破損し、トイレが使用できない状態となった場合は、区が該当する避難所へ連絡することと記載した。</li> <li><b>避難所の電源確保の強化と在宅避難の促進のための避難者への電源の提供【新】</b> 令和5年度中に各避難所へのスマートフォン充電用の充電機を追加配する。これに伴い、避難所にいる避難者に対し、在宅避難をするうえで必要となるスマートフォンの充電を提供することと記載した。</li> <li><b>避難者に配布するチラシの作成【新】</b> 地域の状況に応じて、多くの避難者が避難所に詰めかけた場合を想定し、在宅避難の協力をお願いするチラシのひな形を区のホームページに掲載することとし、その活用についてマニュアルに記載した。</li> <li><b>設備・機材についての説明</b> 受水機のほか、近年導入が進められている自立式のガスヒートポンプ【新】、太陽光発電【新】などの機材の操作方法を追加した。</li> </ol>
<p><b>② 被災者支援にあたっての区の取り組み方針の明記</b></p> <p>以下のことをマニュアルにおいて承し、区と避難所運営委員会（避難所運営組織）の連携の共有化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●区は、すべての被災者が対象とする支援を受け、復旧・復興に向けて力強く歩んでいけるように、広く被災者支援の充実に取り組み。</li> <li>●被災者の権利と支援活動の最低基準を定めた「セフィア基準」及び「世田谷区多様性を認め合い男女共同参画と多文化共生を推進する条例」の基本理念を被災者支援の基本となる考え方に据え、この理解が被災者支援に活かされるよう、区は様々な課題に取り組み。</li> <li>●区は、避難所開設にあたり重要な役割を担う避難所運営組織への支援を一層強化するとともに、指定避難所が被災者が必要な支援につなげる場として機能するために、避難所の運営状況の把握と、共助としての在宅避難者支援を担う関係機関、関係者、地域のつながりによる避難所運営への参加の輪を広げていく。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>避難所で行うべき基本的な衛生管理【新】</b> 基本的な衛生管理の刷新に加え、区の専門職員を中心とした避難所を巡回しての衛生管理等の支援の刷新を追加した。</li> <li><b>多様な文化・習慣への対応【新】</b> 外国人に対するやさしい日本語によるやり取りなどの配慮に加え、宗教上もしくは思想・信条上の多様な文化・習慣、その他の配慮についての説明を追加した。</li> <li><b>医療との連携・応急手当て【新】</b> 医療従事者の配置、区内医療機関等による緊急医療支援などの初期医療体制の刷新や、災害拠点病院、緊急医療支援所の説明などを追加した。</li> <li><b>関係団体との連携・協力について【新】</b> 災害ボランティア、NPO団体、せたがや女性防災コーディネーター、防災士等による避難所の運営支援についての説明を追加した。</li> <li><b>避難所の閉鎖について【新】</b> 区民生活の早期再開に向けた取り組みや、被災住宅の緊急修繕、応急仮設住宅等の供与、避難所統合の進め方についての説明を追加した。</li> </ol>
	<p><b>④ 見直し後のマニュアルの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●すでに独自の避難所運営マニュアルを作成している避難所は、よりよい運営に向けての参考として、この見直し後の運営マニュアル（標準版）（解説版）を活用していただく。</li> <li>●また、現在、独自の運営マニュアルの作成に取り組んでいる避難所は、これからの作成作業の一助として、この見直し後の運営マニュアル（標準版）（解説版）を活用していただく。</li> </ul>

## 【第2部】在宅避難に必要な水と衛生について

### 在宅避難に必要な水と衛生

2024.1.13



世田谷区立中里小学校  
避難所運営委員／  
国立保健医療科学院  
浅見 真理（防災士）



1



2

熊本 2016



余震が続く中、多くの人が避難している村立南阿蘇中の体育館  
=熊本県南阿蘇村で2016年4月19日、徳野仁子撮影

3

熊本 2016



早朝、仮設トイレに並ぶ避難者たち=20日午前6時47分、熊本県益城町のグランメッセ熊本

4

熊本 2016 今も200人以上が身を寄せる熊本県益城町の小学校



熊本地震の被災地では、避難生活を送る子どもや親から、学校の再開を待ち望む声が高まっている。被災を免れた校舎には、今も家を失った被災者が身を寄せている。仮設授業室は被災者が早期に避難所を解消することは難しく、避難所と教室との「共存」が大変な状況から本格的に始まる。  
=熊本県益城町の町立安西小学校で2016年4月29日、寺増浩太郎撮影4/30 毎日

5

【熊登半島地震・避難所ルポ】 支援物資届かず「あらゆるものが足りない!」 石川県珠洲市

能登 2024



250人以上が避難する珠洲小学校の体育館=石川県珠洲市野々江町で

6

**まさか小学校が避難所にお〜**  
- 実際避難所になったところもそう思っていた・・・  
- マニュアルが難しい・・・

**実際災害が起ったら、避難所に行けば誰か何とかしてくれるの?**  
- 避難所運営委員はご近所の方々運営するのは基本自分たちです。

**食料が足りない時どうするの?**  
- 生活ルールを覚えておく必要があります

**物資は足りない、床は狭く、音も気になる**

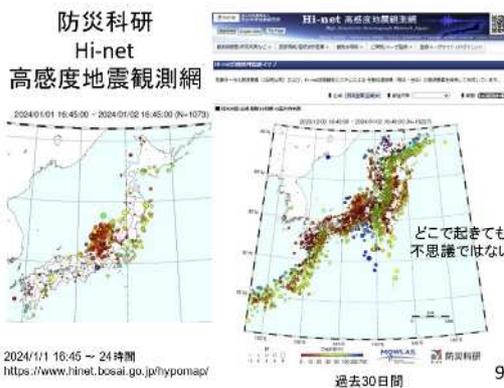
**防災力強化!**  
PTAや救難員やおやしの会と地域の避難所運営委員の協力のためHUG等で訓練!

中登小学校版 避難所運営ゲームHUG

7



8



9

災害時の心得

- まず身を守る
- 安全なところに
- 出入口を確保する
- 避難する場合は十分気をつけて
- 避難所での生活は 肉体的疲労・精神的ストレスが大きい!!
- 自宅で過ごせる場合は自宅で!
- 水、食料、電気、そしてトイレ!

10





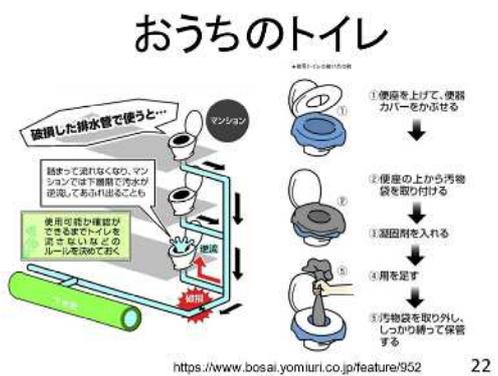
19



20



21



22



23



24



25



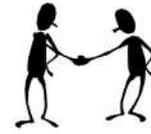
26

## 災害時の心得

- まず身を守る
- 自宅で過ごせる場合は自宅で
- 水、食料、電気、そしてトイレ！ ← 自助
- 災害関連死対策に取り組む「避難所・避難生活学会」では、「TKB48」を避難所改善の合言葉に一質の高い「T(トイレ)K(キッチン)B(ベッド)」を48時間以内に！ ← 公助

27

ありがとうございました！



← 共助

28

防災塾アンケート 結果					
				日付	令和6年1月13日
				地区	太子堂
【テーマ】在宅避難に必要な水と衛生について			参加人数:33名	アンケート回答人数:30名	
<b>1 講演内容はいかがでしたか</b>					
	よかった	②まあまあだった	③よくわからなかった	回答なし	
	25	5	0	0	
(理由) ・在宅避難と水と衛生について大切なことがわかった。トイレの使用方法に注意が必要だと思った。 ・判りやすかった					
・テーマの範囲が大きく全体的に浅くなってしまったので、ポイントをしばってアイデア等を引き出してほしい					
・在宅避難についてよくわかった ・久しぶりにこのようなディスカッションが出来たのは非常に有意義だった					
・地域でどのような方々が問題意識を持って暮らしているのかを知ることができました ・どのくらいの水や食料等が必要か学べた					
・備蓄品のアイデアが具体的に多数出た事 ・在宅避難の準備の必要性の再認識ができた。ありがとうございました。					
・生活環境の異なる方々の防災意識を聞いて良かったです ・地域の方々と交流しながら在宅避難について学ぶことができた					
・横浜市の例なども紹介され分りやすかった ・グループワークで情報を共有できたこと ・改めて再認識できた					
・在宅避難の重要性やどのようにして備えをしていくべきか知ることが出来た ・日頃、考えていなかった事が良くわかった					
・能登地震後であるだけに何を話すか興味を持っていた ・在宅避難について知識を得ることができた					
・身近な話で、色々ためになる事が多かった ・マスクなしで、ゆっくり話してほしい					
・避難にあたって意識すべきことを知ることができた。備蓄の再確認ができた。					
・分かっている様で忘れていた内容があり、大変参考になりました					
<b>2 講演時間はいかがでしたか</b>					
	短かった	②ちょうどよかった	③長かった	回答なし	
	5	24	0	1	
<b>3 グループワークはいかがでしたか。</b>					
<b>時間について</b>					
	長かった	①ちょうどよかった	②短かった	回答なし(その他)	(意見)
	0	27	2	1	自分自身どのように対応したら良いか理解していなかった
<b>内容について</b>					
	よかった	②ふつう	③よくなかった	回答なし	
	13	11	0	6	
<b>4 避難所運営を行う上で、心配なことはありますか</b>					
	ある	ない	③わからない	回答なし	
	20	7	3	0	
<b>5 4で「ある」とお答えの方、具体的に心配と感じていることは何ですか</b>					
・避難所と同じように食料、情報等の供給はあるか ・家が心配になりました。安全な部屋を一室造りたい。 ・食料の備蓄がむずかしい					
・家具等は固定していますが、そもそも建物は大丈夫なのか。火が出ないか。 ・自宅にて備蓄が十分ではない ・正しい情報を知ること					
・耐震基準に合った家でない家がある(新しく家がたてられない、3m通路がない、道路に面していない)。火災に対してどうするか					
・自分自身ではないが、集合住宅(マンション)の方は基本的に対象外であることを知らない。千代田、中央あたりでは明確にされている。					
・経験したことがないので心配はつきない。ただそもそも避難所のキャパシティが足りていないことは気になっていたため、区としてもその点を重要視していることがわかってよかったです。 ・余震が来たときに大丈夫か、とても不安になると思います ・避難するかどうかの判断					
・1人でいるときにけがなどですぐに動けない場合、どうしたらよいか ・木密地域なので火災の心配、在宅避難ができるかどうか					
・家が避難に耐えられるかが不安。ご近所の在宅避難の準備も大切と考えている。 ・防災備蓄の為の場所を考えなおす					
・大きな余震が心配です。2次災害がないように建物のトリアージが急がれます。					
・何をどれくらいなどリストがあればよい。リストをもとに準備したい。					

6 その他、今後知りたいこと、ご意見などございましたらご記入ください。
・地区の方を知るよい機会となった。グループワークはカテゴリー別に活せたので効果的であった。短時間でも和気あいあいとできた。
若い方にも参画いただきたい。 ・本日はありがとうございました。参考になりました。 ・物資の搬入のあり方
・上の5に対してどのような解決方法があるのか知りたい。太子堂1丁目。 ・お年寄りの方の避難などピンポイントな話も必要かと思います。
・在宅避難の際のそれに対する行政のサポートや、どうすればより安全で地域のためになる在宅避難が可能になるのか、日頃の備えやネットワークづくりについて知りたいと思いました。
・すばらしいグループワークもあり、有意義でした。またこのような機会をつくってください。感謝。 ・今日はありがとうございました。
・マスコミの統制について力をつけるべき。行政や応援部隊が一生懸命従事しているのに批判はやめさせるべきである。
・一般住民に防災訓練とかに参加者を多くする工夫が足りません。広報、通知の方法。
・グループワークで町会の方や学生の方とお話することができました。短い時間でしたが、皆さんのお話が参考になりました。
本日はありがとうございました。

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課  
若林まちづくりセンター

- ( 1 ) 実施日 令和5年10月8日(日曜日)午前10時～正午
- ( 2 ) 場所 若林まちづくりセンター 3階活動フロア
- ( 3 ) 参加人数 21人
- ( 4 ) テーマ

「近年の自然災害とマンションの備え」  
～マンション防災マニュアルの重要性について～

- ( 5 ) 実施内容

### 講師説明

第一部 講演「近年の自然災害について」

マンション管理士・防災士 稲葉 護 氏

第二部 講演「マンション防災マニュアルの重要性と

東京とどまるマンションについて」

マンション管理士・防災士 田邊 実 氏

(防災用無線機の実演含む)

第三部 講演「マンション防災マニュアルの作成について」

マンション管理士・防災士 小出 由久 氏

### 質疑応答

参加者5人から6つの質問があり、講師及び若林まちづくりセンター職員がその場で回答した。

### 質問内容(抜粋)

- ・マンション内で避難訓練を実施したが75%の参加率だった。もっと参加してもらうにはどうしたら良いか。
- ・防災用無線機は1機あたりいくらくらいで購入できるか。
- ・避難行動要支援者の名簿の件をもっと詳しく教えてほしい。

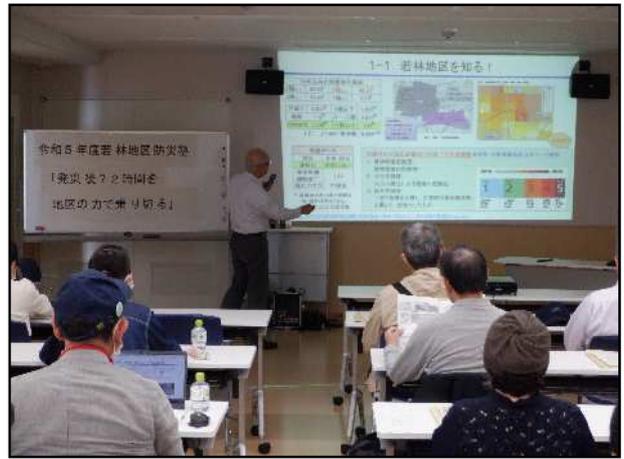
- ( 6 ) 成果物

別紙写真参照

令和5年度 若林地区防災塾 成果物

世田谷総合支所長挨拶

第一部 講演



第二部 講演

第二部 防災用無線機の実演



第三部 講演

質疑応答



防災塾アンケート用紙（とりまとめ）													
<table border="1"> <tr> <td>日付</td> <td>令和5年10月8日</td> </tr> <tr> <td>地区</td> <td>若林</td> </tr> </table>										日付	令和5年10月8日	地区	若林
日付	令和5年10月8日												
地区	若林												
1-1) ご自身について（性別）		1-2) ご自身について（年齢）											
	①男性	②女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上			
数	7	4	0	0	0	0	0	5	5	2			
1-3) ご自身について（職業）													
	①会社員	②公務員	③団体職員	④自営業	⑤パート・アルバイト	⑥専業主婦	⑦無職	⑧その他					
数	1	0	0	3	2	1	7	0					
2 今まで参加した防災塾の開催年度について													
	①令和元年度（平成31年度）以前		②令和2年度	③令和3年度	④令和4年度								
数	2		0	0	1								
3 防災塾に参加して、地域防災について十分な意見交換や議論ができたと思いますか。													
	①十分できている	②ややできている	③どちらとも言えない	④あまりできていない	⑤まったくできていない								
数	0	8	1	3	0								
4 上記の「3」の理由をご自由にご記入ください。													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報が豊富で、参考になった。</li> <li>・住民への意識の浸透がはかられているとはいえない。</li> <li>・時間不足</li> <li>・演者は資料のメモを読むのではなく、各自で参加者に何を理解してもらいたいのか、それをきちんと語ってもらいたい。それが実ある議論に繋がるのではないか。</li> </ul>													
5 防災塾に参加して学んだことや気づいたこと													
	数								数				
①自分の地域でどのような災害が起こりうるかわかった。	5		⑤災害時の地域の課題が、地区住民の視点から具体化された。						4				
②自分の地域でどの程度の被害が発生するかわかった。	4		⑥地区のいろんな方のアイデアが集まって、自分たちでできる災害対策が講じられた。						0				
③災害時に自らがとるべき避難行動を理解することができた。	6		⑦参加した地域のいろんな方と関係性が作られた。						2				
④地域防災の考え方（住民の目線から課題と対策を検討する）を学ぶことができた。	5												
6 今後の希望する「防災塾」の進め方について													
	数								数				
①今までと同じく、ワークショップ形式のグループで議論	3		⑥行政の防災担当者により防災対策の実態に関する詳しい説明						5				
②課題や対策のテーマ別に関わる関係者だけがそれぞれ集まって具体的に議論	3		⑦防災専門の先生や被災対応経験者を招いた防災の工夫や事例に関する防災講演						6				
③よりコアな少数のメンバーが集まって地区全体の課題と対策をより具体的に議論	3		⑧地域の課題と対策について、いろんな地区住民から広く意見がもらえる会合						2				
④防災まちあるきや安否確認訓練などの体を動かす体験	3		⑨その他						0				
⑤課題と対策のアイデアに関する他地区の防災活動の事例紹介	7		( )										

7 地区防災計画制度がつくられたが、本制度の内容はご存知ですか。					
	数			数	
①地区防災計画作成のガイドラインを読んだことがある。	6		④言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない。	6	
②他所の地区で作成された地区防災計画を読んだことがある。	0		⑤全く知らない。	2	
③防災塾で説明を聞いたことがあり、ある程度は知っている。	0				
8 平成29年3月より、地区防災計画を区HPに掲載していますが、ご存知ですか。					
	①知っていた	②知らなかった			
数	2	12			
9 地区防災計画の今後の見直し・検証において、重点的に実施したいと思うこと					
	数			数	
①地域の課題に対し、防災まちあるきを通じた危険個所や地域資源の発見と整理	5		④検討した対策の実現に向け、地区全体の具体的なルールづくりや担当決め	3	
②初期消火や要配慮者支援等の地域の課題別の防災マップ作成	5		⑤計画に記載している課題と対策に加え、より多くの住民視点からの課題と対策の追加	3	
③検討した対策の実現に向け、協力関係者への声かけと対策方法に関する話し合い	4		⑥避難訓練、消火訓練等、災害時の対策が実現できるか体を動かした検証（実践）	7	
<p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震対策と効果を明記して、対策をうながすパンフレットの作成配布</li> <li>・避難通路のガイダンスが必要（矢印？地面の矢印）</li> <li>・②④町会員、町会長の参画、⑥町会毎に集まり実践に向けたロールプレイ</li> <li>・初動としての安否確認の具体的な例</li> </ul>					
10 防災塾に継続して参加したいと思いませんか。					
	①継続して参加したい	②都合がつけば参加したい	③どちらとも言えない	④あまり参加したくない	⑤まったく参加したくない
数	6	7	1	0	0
11 「防災塾」のご感想や「災害対策や地区防災計画」に関するご意見・ご要望など、自由にご記入ください。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報に対する取扱にもっと重点が必要。ファクトチェックなど情報が多く出るので、フェイクによる混乱が考えられる。防災は情報戦であるという考え方が必要ではないか。</li> <li>・若林地区にはマンションが多いので、参加者だけでなく、すべてのマンションに周知して自立した対策を準備していただくことが重要。ぜひご努力を期待しております。</li> <li>・「防災マニュアル」を作成したいと考えてきたので、今日そのマニュアルを作成する際の「マニュアル」について説明があり、大変参考になった。ただし、概ね、組織づくりが簡単にはいかないと思うが、チャレンジしていきます。ありがとうございました！</li> <li>・充実した内容でした。ありがとうございました。</li> <li>・第三部のテーマが一番聞きたかったが、かけ足の説明で、スライドの内容を全ては読み込めなかった。後で配付資料をじっくり読もうと思うが文字が小さく読みづらい。</li> <li>・個人情報保護法の関連もあり、名簿等を作り配布する事が困難。どういう対処が理想か。</li> <li>・初めて参加させていただきましたが、各講師が短時間に要点をわかりやすく説明して大変に良かったです。今後も参加したいと思えます。</li> <li>・時間的余裕なし</li> </ul>					

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課  
上町まちづくりセンター

- (1) 実施日 令和5年11月25日(土) 午前10時～11時  
 (2) 場所 上町まちづくりセンター 3階活動フロア  
 (3) 参加人数 44人  
 【内訳】  
 区民 28人  
 民生委員・児童委員 5人  
 上町地区身近なまちづくり推進協議会防災対策部会員 9人  
 上町あんしんすこやかセンター職員 1人  
 社会福祉協議会上町地区事務局職員 1人
- (4) テーマ  
 「震災時に慌てないために今から備える～水の備え～」
- (5) 実施内容  
 震災に対して、日ごろから自分自身でできる水の備えや、震災時に役立つ情報、災害時給水ステーション等について学ぶ講習会
- (6) 成果物 (写真、配付資料、アンケート結果)  
 ・写真(講義の様子)



# ご参加いただける水道局の事業のご紹介

## 楽しく学べるPR施設

※新型コロナウイルス感染状況等により、臨時休館や入場制限等を行う場合があります。来館の際は、ホームページで詳細をご確認の上、お越しください。



### 東京都水の科学館

所在地：江東区有明三丁目1番8号  
水の不思議と大切さを科学の視点で学べる体感型ミュージアム

通年



### 東京都水道歴史館

所在地：文京区本郷二丁目7番1号  
江戸時代から今日までの水道の歴史を分かりやすく楽しみながら学べます。

通年



### 奥多摩 水と緑のふれあい館

所在地：西多摩郡奥多摩町原5番地  
奥多摩の豊かな自然や文化、小内河内ダムの仕組みを紹介

通年

## 水道事業サポーター



### 多摩川水源森林隊

緑豊かな森林へと再生するための、森づくり活動へのボランティア ※16歳以上対象

通年

### 多摩川水源サポーター

通年

### 東京水道水源林寄附金

通年

### 水道親子サポーター

随時

## 作品の応募など



6～9月頃

### 水道週間作品コンクール

水道週間にちなみ、東京の水道水や水道に関するポスター・作文を小中学生から募集

## 自然や水道施設などとのふれあいや体験など



### ウォーキング

(水源林ツアー／玉川上水)  
水道水源林、玉川上水の見どころを歩きます。

夏～秋頃



### Tokyowater Drinking Station

都内に900か所近くある水飲栓で気軽に給水

通年

※各事業は、新型コロナウイルスの感染状況等により中止または延期となる可能性があります。最新の情報は水道局ホームページなどでご確認ください。

## MEMO

### 最寄りの災害時給水ステーション

下記の空欄に、最寄りの災害時給水ステーションの施設名と所在地を記入し、ご家族やご友人、ご近所の方へのお知らせや回覧にご活用ください。

## 水道キャラバンブックレット



# 災害等で、もしも断水してしまったら…!?



飲み水以外でも生活に欠かせない水。災害等の万が一のために、

## 日頃から水を備えておくことが重要です!

## すぐにできる、水の備え

### ポイント①

「ふたのできる容器に口元まで」  
塩素の消毒効果を保つため浄水器を通したり、沸かしたりせず、蛇口から直接、口元いっぱいまでそそぎましょう。

清潔で蓋のできる容器



### ポイント②

「1人1日3リットル」  
人間に必要な水の量は1人1日3リットルです。この量を目安に、3日分程度のくみ置きをしてください。



### ポイント③

「常温で3日間、冷蔵庫では10日間」  
塩素の消毒効果は直射日光を避けて常温で3日、冷蔵庫で10日程度持続します。



地震や集中豪雨のとき、水道は大丈夫？  
災害で断水したらどうすればいいの？  
水道水って本当に安全？

詳細は中をご覧ください!



# くらしを支える、東京水

くらしを支える、安全でおいしい水道水を、24時間いつでもお届けするために様々な取組を行っています。



専用アプリを起動したスマートフォン等でこのパンフレット内のARマークのついた画像を読み込むと、画像・動画等をご覧いただけます。  
(専用アプリのダウンロードは水道局ホームページから)



## 震災等への取組 P6

皆様へ水をお届けするために様々な対策をしています。

- ・水道管路の耐震継手化
- ・管路の二重化・ネットワーク化
- ・浸水対策
- ・災害時給水ステーション



局HPもご覧ください



### 耐震継手管 AR



## 水道に関するお問合せを手軽に

### AIチャットボット「水滴くん相談室」

水道局ホームページ上に、24時間365日稼働するチャットボットを公開。チャットボットに質問を入力すると、AIが水道の申込み手続きや工事情報など、知りたい情報をご案内します。



## 水道事業等についてさらに知りたい方は...

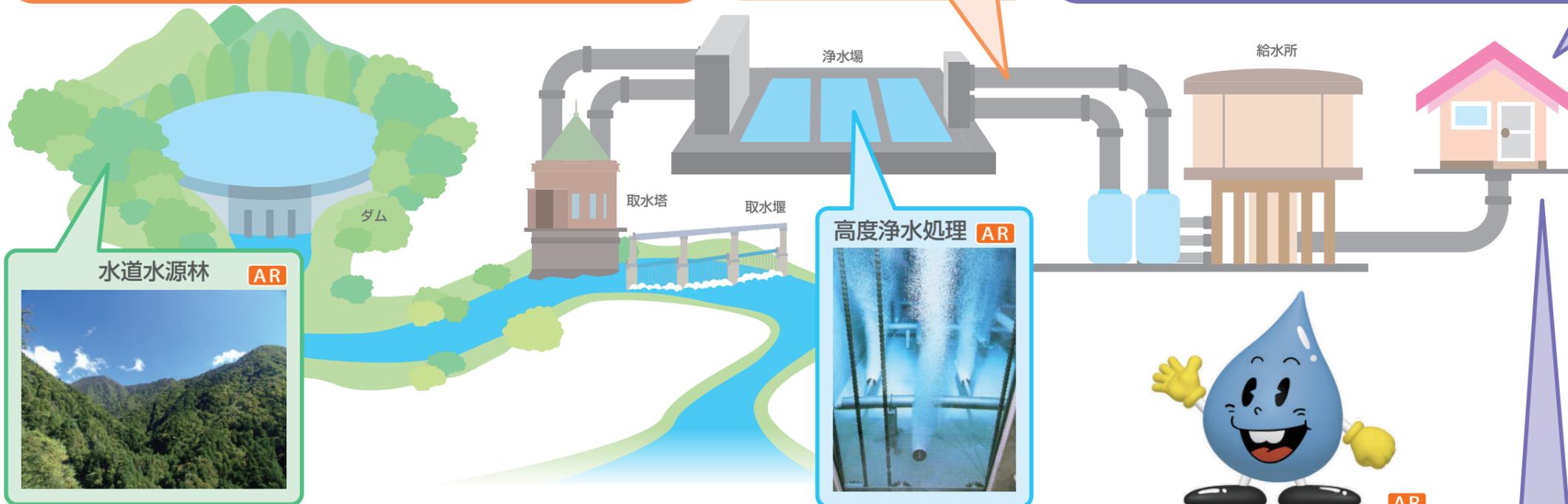
水道局ホームページや広報パンフレットをご覧ください。

- ・東京の水道
- ・水道・くらしのガイド
- ・水道水源林
- ～みんなでつくる豊かな水源の森～
- ・行ってみよう！！東京水道名所

ダウンロードはこちらから



など



### 水道水源林 AR



### 高度浄水処理 AR



## 水道水源林を守るための取組 P4

多摩川上流域に広がる森林「水道水源林」を120年以上にわたり管理し、水を育む豊かな森を守っています。

- ・水道水源林の果たす役割
- ・多摩川水源森林隊
- ・民有林の購入



詳細はこちら



AR

## 安全でおいしい水道水をお届け P5

24時間365日安全でおいしい水道水をお届けしています。

- ・浄水処理の主な工程
- ・高度浄水処理
- ・徹底した水質管理
- ・浄水場の覆盖化



毎日の水質検査結果はこちら



## 水道キャラバンホームページ

### おうち水道キャラバン

水道について動画で学べる「おうち水道キャラバン動画チャンネル」や応募すると素敵なプレゼントがもらえる「東京水クロスワードパズル」など、たくさんのコンテンツを用意しています。ぜひアクセスください！



※画像はイメージです。

おうち水道キャラバンはこちら



# 水道水源林を守るための取組

雨水を蓄えたり、きれいにしたりする働きをもつ水道水源林。  
東京都水道局は、120年以上にわたり水をはぐくむ豊かな森を守っています。

## 水道水源林の果たす役割 ～ 森林をきちんと管理 ～



### 水源かん養機能

森林は、降り注いだ雨を土壤に一時蓄え、長時間にわたり少しずつ、ほぼ一定に近い状態で流出させます。



### 水質浄化機能

雨水に含まれるちりなどが、土の中を移動する間にろ過・吸着され、きれいな水となって河川に流れ込みます。



### 土砂流出防止機能

森林では根が土の移動を抑え、土砂崩れなどが起きにくくなります。また、森林の中には落ち葉や枯れ枝が積もっているため、雨によって表面の土が流されることなく、川やダムに土砂が流れ込むことを防いでいます。

## 多摩川水源森林隊 ～ 荒れた森を緑豊かな森に戻す ～



多摩川上流域の森林の、民有林の一部では、荒れてしまった森が増え、土砂が流れ出すなど、小河内ダムへの悪い影響がとて心配されています。

1,000名を超えるボランティアが存在し、定期的に多摩川上流域の民有の人工林の保全活動が行われています。

AR



水道局は、所有している水道水源林だけでなく、こうした民有林への取組により、水源の確保に努めています。

※16歳以上が対象となります。

動画はこちら



## 民有林の購入 ～ 健康な森林を増やす ～

所有者が手放す意向がある民有林を公募して購入しています。さらに、小河内ダムへの影響が懸念されるエリアを「民有林重点購入地域」と位置付け、積極的に購入し、水道水源林として適正に管理していく取組を行っています。

# 安全でおいしい水道水をお届け

浄水場で川から取り入れた水を、沈殿→ろ過→消毒の工程と、徹底した水質管理を行い、24時間365日安全な水道水をお届けしています。

## 浄水処理の主な工程



### ① 沈殿

水を緩やかに流したり、薬品(凝集剤)を使ったりして、水中に混じっている泥や細かい砂などの濁質を沈めて取り除きます。



### ② ろ過

沈殿では取り除けなかった水中の微粒子などを、ろ過膜や砂の層を通すことで取り除きます。



### ③ 消毒

塩素は水中にとどまって効果が持続する特徴があるため、塩素消毒により、蛇口に届くまでの間、細菌が繁殖しないよう、水道水の安全を守っています。

## 高度浄水処理 ～ より安全でおいしい水づくり ～

「沈殿」「ろ過」「消毒」では取り除けないにおいのもとを取り除くことができる「高度浄水処理」を導入しています。

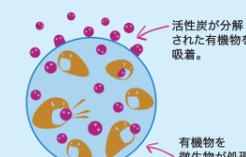
### ① オゾン処理

かび臭の元となる物質等をバラバラに分解する処理です。



### ② 生物活性炭吸着処理

バラバラになった物質を、活性炭の吸着作用と活性炭に繁殖した微生物の分解作用とを併用して処理します。



## 徹底した水質管理 ～ 様々な場所できめ細かな水質管理 ～



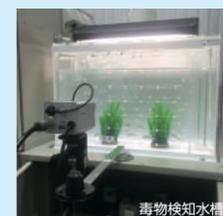
### 水源の水質調査

利根川や荒川、多摩川など関東地方の約70か所で調査



### 浄水場での管理

様々な分析機器を使用して水質を検査しています。また、魚の反応から毒物などの異常を検知します。



### 蛇口での管理

都内131か所の蛇口に設置された自動水質計器で残留塩素等を監視しています。

## 浄水場の覆蓋化 ～ 外から異物が入らないように ～

浄水場には、大きな池がたくさんありますが、災害等に備えて、これから新しく作る大きな池は、屋根や蓋をつける、覆蓋化を進めています。







## ぜひコピーしてご家族や知人にお渡しください！



### 備え 災害が発生する前に…すぐにできる備え

#### 水のくみ置きポイント



##### 「ふたのできる容器に口元まで」

塩素の消毒効果を保つために浄水器を通したり、沸かしたりせず、蛇口から直接、口元いっぱいまでそそぎましょう。

清潔で蓋のできる容器



##### 「1人1日3リットル」

人間に必要な水の量は1人1日3リットルです。この量を目安に、3日分程度のくみ置きをしてください。

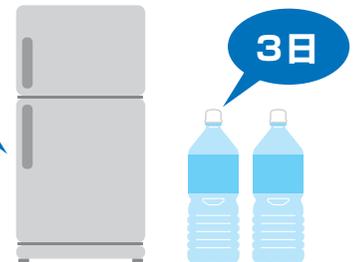


##### 「常温で3日間、冷蔵庫では10日間」

塩素の消毒効果は直射日光を避けて、常温で3日間、冷蔵庫で10日間程度持続します。

10日

3日



#### 災害時に水をもらうための用意

災害時に水をもらうときに必要になります。事前に準備しておきましょう。

水を入れる清潔な容器



水を運ぶためのカートやリュック



災害時

# 実際に災害が発生したら

## 最寄りの災害時給水ステーションを確認しましょう

災害で断水したときは、災害時給水ステーションで水をお配りします。  
災害時給水ステーションは、次の場所で開設します。

### ① 水道施設や公園の下に貯めておく施設

お住まいから約半径 2 km の距離内に 1 か所、  
都内 200 か所以上の浄水場や給水所等の水道施設、  
地下の応急給水槽等に開設

下記 QR コードからお近くの  
災害時給水ステーションをご確認いただけます。

水道局ホームページは  
こちら



災害時給水ステーションの開設状況は、  
水道局ホームページ等で公表します。  
開設状況を確認の上、お越してください。

### ② 避難所等

#### ○避難所応急給水栓

避難所の耐震化に合わせて設置された給水栓に区市町が仮設の蛇口を設置

#### ○消火栓等を活用するもの

避難所付近のあらかじめ指定した消火栓等に区市町が仮設の蛇口を設置

#### ○仮設水槽

区市町が設置する仮設のタンク等に給水車等の車両を使用して水を補給

災害時給水ステーションは  
このマークが目印です。



## 災害時の情報入手方法

水道施設の被害状況や局の対応状況をマスメディアに情報提供し、公表します。  
さらに水道局ホームページや Twitter でも発信いたします。

ビラ等の配布

局ホームページ

水道局公式 Twitter はこちら

区市町への情報提供

局公式 Twitter



@tocho\_suido

局の各庁舎の掲示板や  
玄関などへの掲示

ラジオへの情報提供

拡声機付広報車 など



防災塾①アンケート用紙（とりまとめ）										
								日付	令和5年11月25日	
								地区	上町地区	
1-1) ご自身について（性別）			1-2) ご自身について（年齢）							
①男性	②女性	③その他	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
数	14	24	1	1	1	2	6	12	12	
1-3) ご自身について（職業）										
①会社員	②公務員	③団体職員	④自営業	⑤パート・アルバイト	⑥専業主婦	⑦無職	⑧その他			
数	3	0	3	4	4	12	7	5		
2 今まで参加した防災塾の開催年度について										
①令和元年度（平成31年度）以前	②令和2年度	③令和3年度								
数	10	6	8							
3 防災塾に参加して、地域防災について十分理解できましたか。										
①十分できている	②ややできている	③どちらとも言えない	④あまりできていない	⑤まったくできていない						
数	11	20	4	1	0					
4 上記の「3」の理由をご自由にご記入ください。										
①を選んだ方 <ul style="list-style-type: none"> <li>映像もあり、応急給水栓や給水ステーションの旗等も実物があり、具体的でとても分かりやすかった。</li> <li>災害が起きる前と起きた後、それぞれに対して耐震継手化、災害時給水ステーションの設置など、事前準備が整えられていることが分かった。</li> <li>給水ステーションの場所の説明についてや、情報の発信所などをスマホで手に入れる方法について、よく分かった。</li> <li>日常から水の備蓄など対策を行っているため。</li> </ul>										
②を選んだ方 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の避難所運営委員会に参加しているため知識があった。</li> <li>実際に対応するときには、分からなくなるのではないかと感じた。</li> <li>避難時の対応や水の備蓄の用意をすでにしているため。</li> <li>情報としては知って良かったこともあったが、実技があるとよかったと思った。</li> <li>なかなか他の町会の進み具合などの情報が入らない。今回の防災塾に参加させていただいて、水道局で取り組まれている事が大まかに理解できた。ホームページなどを家に帰ってから、じっくり見てみたいと思った。今回の塾では、発電機についても説明があり、しっかり調べてみたいと思った。</li> <li>今まで知らなかった事等（災害時給水ステーションなど）知れて良かった。</li> <li>防災訓練や防災塾にはなるべく参加しているが、すぐに忘れてしまう。</li> <li>災害時給水ステーションの場所の確認、訓練に参加しなくてはと思った。</li> <li>今回は水道を軸に震災時の対応や、備蓄などについて学んだが、今回、水道の仕組みや応急給水栓について、しっかりと理解していなかったので学びたい機会になった。また水道局と区、市、村の連携も非常時には重要だ。</li> </ul>										
③を選んだ方 <ul style="list-style-type: none"> <li>水のこのことのみよく分かったが、まだ分からないことがある。</li> <li>水に関して少々分かった。下水、特にトイレに関するものがもっと知りたい。</li> <li>頭ではわかったつもりでも、実際に起こった時に行動できるか不安は大きい。</li> </ul>										
5 防災塾に参加して学んだことや気づいたこと（複数回答）										
	数		数							
①自分の地域でどのような災害が起こりうるかわかった。	5	⑤災害時の地域の課題が、地区住民の視点から具体化された。	13							
②自分の地域でどの程度の被害が発生するかわかった。	3	⑥地域のいろんな方のアイデアが集まって、自分たちでできる災害対策が講じられた。								
③災害時に自らがやるべきことを理解することができた。	27	⑦参加した地域のいろんな方と関係性が作られた。								
④地域防災の考え方（住民の目線から課題と対策を検討する）を学ぶことができた。	20									
6 今後の希望する「防災塾」の進め方について（複数回答）										
	数		数							
①ワークショップ形式のグループで議論	6	⑥行政の防災担当者により防災対策の実態に関する詳しい説明	16							
②課題や対策のテーマ別に関わる関係者だけがそれぞれ集まって具体的に議論	2	⑦防災専門の先生や被災対応経験者を招いた防災の工夫や事例に関する防災講演	20							
③よりコアな少数のメンバーが集まって地区全体の課題と対策をより具体的に議論	5	⑧地域の課題と対策について、様々な方から広く意見がもらえる会合	12							
④防災まちあるきや安否確認訓練などの体を動かす体験	21	⑨その他（給水ステーションの場所見学等）	3							
⑤課題と対策のアイデアに関する他地区の防災活動の事例紹介	14									
7 地区防災計画制度がつくられたが、本制度の内容をご存知ですか。										
	数		数							
①地区防災計画作成のガイドラインを読んだことがある。	8	④言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない。	10							
②他所の地区で作成された地区防災計画を読んだことがある。	5	⑤全く知らない。	9							
③防災塾で説明を聞いたことがあり、ある程度は知っている。	5									
8 平成29年3月より、地区防災計画を区HPに掲載していますが、ご存知ですか。										
①知っていた	②知らなかった									
数	12	16								
9 地区防災計画の今後の見直し・検証において、重点的に実施したいと思うこと（複数回答）										
	数		数							
①防災まちあるきを通じた危険箇所や地域資源の発見と整理	12	④地区全体の具体的なルールづくりや担当決め	10							
②初期消火や要配慮者支援等の地域の課題別の防災マップ作成	10	⑤より多くの住民視点からの課題と対策の追加	14							
③協力関係者への声かけと対策方法に関する話し合い	9	⑥避難訓練、消火訓練等、災害時の対策が実現できるか体を動かした検証（実践）	15							
<その他> 外国人に対して理解しやすいパンフレットの作成や説明、防災戸の確認、タンカで人を運ぶ訓練										
10 防災塾に継続して参加したいと思いますか。										
①継続して参加したい	②都合がつけば参加したい	③どちらとも言えない	④あまり参加したくない	⑤まったく参加したくない						
数	12	14	3	0	0					
11 「防災塾」のご感想や「災害対策や地区防災計画」に関するご意見・ご要望など、自由にご記入ください。										
<ul style="list-style-type: none"> <li>一方通行で狭い道が多いため、災害時の活動に支障があるのではと不安。</li> <li>公助、共助のパイプの在り方、及びその共有。</li> <li>多くの住民が無関心、又は多忙でこうした防災塾への参加が少ない。</li> <li>もっと若い世代からの防災意識の高まりがあればよいと思う。</li> <li>6町会のつながりが薄い。各町会の防災、共助の取り組みを知ることが無い。</li> <li>東京大空襲のときの写真で、真っ黒い消防団の写真を見たが、どこまで作業すれば良いのか？</li> <li>大きなスーパーから震災後カートが借りられないか、又スーパー、コンビニにあるペットボトル使用の飲み物を給水ステーションにある程度集めて、容器が足りない方に全て渡す。決済は、後で区が行うなど、区に契約してもらえないか。</li> </ul>										
12. 上町地区の防災に関して課題だと思ふことがあればご記入ください。										
<ul style="list-style-type: none"> <li>講和が多くなり、実技が少なくなった。</li> <li>福祉の専門職なので、その方面で協力したいと思っている。最近すいぶん大きく防災が進展しているなど感じる。</li> <li>おおまかな事を理解できたので、ホームページ等で詳しく調べたいと思う。</li> <li>消火栓を利用した給水ステーションが移住地の近くにあるかどうか知りたい。そして、どのような状態で、それが開かれるか知りたい。区長の権限がおりても、実際に駆けつけてくれる人は誰なのか（その人も被災しているはず）知りたい。</li> <li>3カ月毎くらいにいろいろな項目を聞ける機会を作って欲しい。</li> <li>要配慮者と連携をとった訓練などを今後行ってみるのはどうだろうか。</li> </ul>										

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課  
上町まちづくりセンター

- (1) 実施日 令和6年2月17日(土) 午前10時～正午  
 (2) 場所 上町まちづくりセンター 3階活動フロアー  
 (3) 参加人数 39人

### 【内訳】

上町管内の避難所運営委員 19人  
 和光小学校 1人  
 上町地区身近なまちづくり推進協議会防災対策部会員 8人  
 上町あんしんすこやかセンター職員 1人  
 介護事業者 4人  
 世田谷区職員 6人

### (4) テーマ

上町防災塾「誰もが安全に安心して過ごせる上町地区を目指して～分かりやすい情報発信のために、やさしい日本語を学ぶ～」

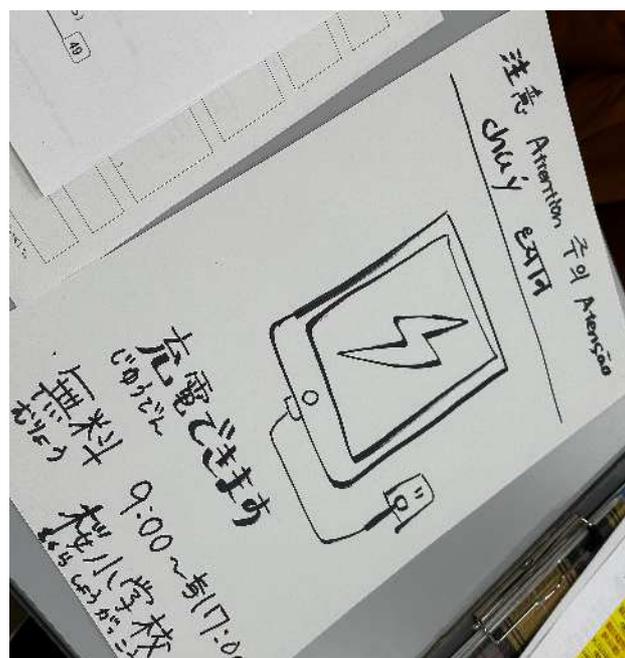
### (5) 実施内容

外国人が情報を受け取る際にどのような困りごとを抱えているのかを知り、分かりやすい情報発信をするためのやさしい日本語(外国人にも分かりやすい日本語)について学ぶ講習会

### (6) 成果物 (写真、配付資料、アンケート結果)

写真(講義の様子)

- ・グループワークで作成した表示物
- ・講義の様子



## 1、自己紹介

難解公用文 / 公共サインのコレクター兼批評家です



入居者が 60 歳以上の方又は昭和 31 年 4 月 1 日以前に生まれた方であり、かつ、同居し又は同居しようとする親族のいずれもが 60 歳以上の方若しくは昭和 31 年 4 月 1 日以前に生まれた方又は 18 歳未満の方である世帯。

『読み手に伝わる公用文 やさしい日本語の視点から』(大修館)より

医療関係者向けに、映像を公開しています。

コロナ やさしい日本語

[https://www.youtube.com/watch?v=nwne978IJBc&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=nwne978IJBc&feature=emb_logo)

Q 世界人口のうち英語が使える人の割合はどれくらいでしょうか？

1、 2 割弱 2、 4 割弱 3、 6 割弱 4、 8 割弱

Q 在住外国人で日本語ができるひとの割合はどれくらいでしょうか？

1、 2 割強 2、 4 割強 3、 6 割強 4、 8 割強

Q 在住外国人全体を母数として多数派が読みやすい文字はローマ字である。

○  ×

Q 日本への観光旅行者は、アジアと欧米が 5 対 5 の割合である (その他の地域は除いて計算)。

○  ×

おススメ映像 「But we're speaking Japanese! 日本語喋ってるんだけど」

<https://www.youtube.com/watch?v=oLt5qSm9U80>

## 3、世界や日本の動き

A SDGS

理念 誰も取り残さない 情報発信においても同じ

方法 To get ordinary people on board, SDGs should be communicated in plain language and in the context of everyday life. (国連のウェブより)

## B 国が動き出しました

- 『生活・仕事ガイドブック』(やさしい日本語版)
- 『外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(改訂)』
- 『「やさしい日本語」ガイドライン』
- 『外国人の子供の就学状況等調査結果(令和元年9月27日)』

\* これらは検索をかければ、ウェブからダウンロードできます。

## 4、防災とやさしい日本語

Q 災害時に外国人はどうやって情報を得ているでしょうか(中越地震調査)? 多い順に並べてみましょう。

A 日本人以外の知人や先輩 / B NHK テレビの報道 / C 近所の日本人

ただし、本音は( )が欲しい。

\* 多言語防災情報

NHK WORLD : 18 言語

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/radio/about/>

地震発生時緊急マニュアル : 44 言語

<http://nip0.wordpress.com/about/>

## A 言い換え練習

Q 防災関係の語彙を提示します。順番に言い換えてください。

Q 練習 以下の文を別の言い方で言ってください。

重体の方はいませんか

広い範囲で強い地震がありました

余震に注意してください

火災感知器が作動し、係員が確認しております

けが人を救助しています

消火しているので、迂回してください

## Q 練習 駅のアナウンス

ご自身が今電車の中にいます。外国人から、今の状況を教えてほしいと日本語で聞かれた場合、自分はどう答えますか? 会話調で答えを考えてください。

[ 車内アナウンス ] 申し上げます。〇〇駅停車中の電車におきまして、お客様同士のトラブルが発生しております。その影響で現在安全確認を行っております。運転再開までしばらくお待ちください。

ご利用のお客様にはご迷惑をおかけします、申し訳ございません。

Q 避難所の案内サインを以下の例を参考にして作ってみましょう。みなさんが作成するお題は、「携帯電話の充電場所」です。

注意 Attention 주의 Atención

もらうことが できます



<sup>みず</sup>水を <sup>むりょう</sup>無料で もらうことが できます

<sup>い</sup>入れ物を <sup>もの</sup>持ってきて ください

<sup>かね</sup>お金は いりません

(ところ) \_\_\_\_\_

(時間) <sup>じかん</sup>午前・午後 \_\_\_\_\_ <sup>じ</sup>時 \_\_\_\_\_ <sup>ぶん</sup>分から

<sup>ごぜん</sup>午前・午後 \_\_\_\_\_ <sup>じ</sup>時 \_\_\_\_\_ <sup>ぶん</sup>分まで

<sup>つく</sup>(作った <sup>ひ</sup>日)

<sup>ねん</sup>年 \_\_\_\_\_ <sup>がつ</sup>月 \_\_\_\_\_ <sup>にち</sup>日 \_\_\_\_\_

<sup>つく</sup>(作った ところ)

49

## 1. 本日の防災塾で学んだことや、印象に残ったことを教えてください。

- ・外国の方に伝わりやすいということは、高齢者や障害を持った方、子どもにも伝わりやすいということを知り、なるほどと思った。
- ・町中の表示物の英文訳の拙さと非道さを学んだ。
- ・外国人の情報の取り方に驚いた。(NHK テレビの報道>近所の日本人>日本人以外の知人や先輩)
- ・要点を分かりやすく伝えること。
- ・英語は外国人にほとんど通用する、ローマ字が浸透しているとも思い込んでいたが、概念が変わった。そして、日本在住の外国人が日本語を理解し、ひらがなが読めることを学んだ。
- ・長い文章は二文に分けると伝わりやすくなる、というテクニックがよいと思った。
- ・情報量を取捨選択すること。
- ・質が悪くてもスピードが大事なので、ポイントだけ伝えること。
- ・改めて公文書の表現は回りくどい表現が多いことを実感した。
- ・講師の話がとても分かりやすく気がつかないことなど教えていただき良かった。カタカナよりひらがなの方が外国の方には通じるということがとても参考になった。
- ・シンプルイズベスト。日本語に自信を持って何事も取り組んでいきたい。
- ・ひらがなが伝わりやすいということが目からウロコだった。
- ・頭では理解していても、伝わりにくい日本語を使ってしまい、悔しかった。
- ・避難所運営に関わらず、街中でも外国の方に接する際にも、まずは日本語で話しかけてみようと思った。
- ・災害等の緊急時には、分かりやすい表現の伝え方がより重要であることを学んだ。
- ・自分が英語万能信者になっていることに気づけて良かった。
- ・日本語で丁寧に伝えれば、外国人にも意外と伝わるのが分かった。
- ・講義中の言い換え練習が特に参考になった。
- ・外国人にも、最初は日本語で話しかけてもいいということが印象に残った。
- ・優しい日本語にするには、短い文で漢語、尊敬語等は使わないようにすること。それは発達障害者にも使える日本語であるということを知った。

## 2. 本日の防災塾で学んだことを、どのように活用していきたいですか。

- ・子どもたちに対して分かりやすく伝える工夫をしていきたいと思った。
- ・和光小学校は帰宅困難者施設になっているので、分かりやすい表示を心掛けたいと思った。
- ・外国人への日本語による語り掛け(言い換え)の試行錯誤に挑戦してみたい。
- ・漢語の使用頻度を下げることに関心がある。
- ・大切なことを伝えるには、短い文で端的にすることが大切だということを知った。私は看護師で、今までも分かりやすい説明をする努力をしていたが、もう少し短い文脈で大切なキーポイントのワードを意識的に使ってみようと思った。
- ・表示物の書き方がとても参考になった。簡単に見えて実はたくさんのポイントがあり、意外と難しかった。一度やってみることでポイントが分かり、実際に避難所での表示物作りに活かそうと感じた。
- ・情報の取捨選択が必須になる場面は多いと思うので、なるべく具体的に簡潔に伝えて物事を進めていきたい。
- ・在留外国人の方に防災に関する講話を行う際に、本日学んだことを活用したい。
- ・これからの避難所運営、町会の活動で少しでも活用できたらと思った。
- ・介護事業所の利用者さんや区民の方で外国人の方と接する時に、もっと日本語を使おうと思った。
- ・避難所の表示物に、ひらがなを書き足したりして、より分かりやすいものにしたい。
- ・避難所運営マニュアル作成やお知らせを作る際に、端的に重点が何かを伝えられるよう心がけたい。
- ・地域に住む外国人の方に気軽に声をかけていきたい。
- ・ケアマネ事務所を運営しているが、高齢者支援にも参考になることが多くあり、それらに活用していきたい。
- ・PTAで役員をしているので、作る書類に活用していきたい。避難所運営訓練でももちろん活用していきたい。

- ・外国の方や子どもと接するや、仕事でコミュニケーションを取るときに活用したい。
- ・1歳の子がいるので、日々の生活の中でもいかに簡単な言葉で伝えられるかを試していきたい。
- ・外国人に話しかけられた時に怯えないで、日本語で話したい。
- ・町会の避難訓練で活用したい。
- ・日ごろからメール文や電話、人と会っている時、重点を分かりやすく伝える訓練をしたい。
- ・特別支援学級での言葉遣いにも活用したい。

### 3. 本日の防災塾のご感想やご意見など、自由にご記入ください。

- ・このような企画が立てられること自体、とても人にやさしい地域・地区なのだと感じた。(自分たちさえよければ、ということではなく。)
- ・外国の方に伝わる＝すべての人に分かりやすい伝え方、言い方だと思った。
- ・講師の平易でユーモラスな語り口が良かった。
- ・講義で学んだことを、グループワークで実践できて良かった。
- ・防災はもちろん、自分の仕事にも役立つと感じた。人への伝え方を意識していきたい。
- ・楽しい講義でとても楽しく学ぶことができた。いろいろな視点を学ぶ機会となった。知っていることが重要だと思つたため、今回参加できてとても良かった。
- ・多言語の情報が求められていると思っていたが、下手に多言語にするよりも、日本語の方が通じるのは不思議だった。
- ・目線を変えて物事を見るということを学べた。
- ・1度では忘れてしまうこともあるかと思うので、またお話が聞けたらと思った。
- ・講師のお話がとても面白く、ためになりました。
- ・何回も受けている防災塾だが、今までの中で1番楽しかった。
- ・防災にかかわらず、日常的に役立つ内容でとても有益だった。講師の話が分かりやすかったのでPTAなどにも紹介したい。
- ・講師の講義が面白かった。(複数回答)
- ・東日本大震災、能登半島地震が起きたが、他人事と思わず我が事として対応策を考えなければならないと痛感している。良い情報を得ることができた。
- ・介護事業所として地域とどのように連携していけば良いか悩んでいる。一緒に考える機会を設けてほしい。
- ・講師の著書も読んでみたいと思った。
- ・大変分かりやすく、新しい発見があった。
- ・自分の知らないデータ等がたくさん知れて面白かったが、やはり根本的解決のためには国や行政の動きも重要だと感じた。
- ・看板など、外国人には分かりにくいものが多々あると感じた。
- ・分かりやすいということが人との連携に1番大事なことだと思った。
- ・講師の先生のユーモアを交えての話が面白くてあっという間の2時間だった。

### 4. 防災塾で実施してほしいと思うことすべてに○をつけてください。

項目	回答数
ワークショップ形式のグループ議論	3
少人数で集まって地区全体の課題と対策をより具体的に議論	3
防災まちあるきや安否確認訓練などの体を動かす体験	12
課題と対策に関する他地区の防災活動の事例紹介	7
行政の防災担当者による防災対策の実態に関する説明	10
防災専門家や被災対応経験者を招いた防災の事例や工夫に関する講演	16
地区の課題と対策について、様々な地区住民から広く意見がもらえる会合	4

## 5. 上町地区の防災に関して課題だと思われることをご記入ください。

- ・避難所の進捗状況のばらつきの底上げ。
- ・地域防災へ参加する人が限られており、かつ高齢化が進んでいること。
- ・狭い道や私道が多いので、避難にも苦慮する地区だと思う。
- ・担架訓練がしたい。
- ・避難所内に1人でも医師がいないと、慌てて逃げて、薬を忘れた方や心不全、高血圧、深部静脈血栓症、肺炎の薬1つ出せない。看護師は医師の指示がないと皮膚の塗り薬も塗れない。
- ・初期消化の事例を学びたい。
- ・スタンドパイプやD級ポンプが素早く使えるかの訓練。
- ・防災に関わる人の分母を増やしていくこと。
- ・怪我の手当ての講義が少ないと思う。
- ・在宅避難について。
- ・外国人対応が課題だと思う。
- ・訓練等の体験。

## 6. 防災に関して学びたいテーマをご記入ください。

- ・関係する諸団体の連携と対応。
- ・シミュレーションの機会が多く欲しい。
- ・上町地区にポイントを置いて、実際災害が起きたとき、どうなるのかどうするのかを細かく知りたい。
- ・在宅避難について。

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課  
経堂まちづくりセンター

- (1) 実施日 令和5年11月25日(土曜日)午前10時~正午
- (2) 場所 桜丘区民センター別館ホール
- (3) 参加人数 30人  
(町会、民生児童委員、赤十字奉仕団、小学校長、介護支援事業者、福祉避難所施設長、あんしんすこやかセンター、世田谷防災士会理事)
- (4) テーマ  
「避難行動要支援者への見守りと在宅避難の備え」
- (5) 実施内容  
説明「避難行動要支援者個別避難計画の取り組み状況について」5分  
世田谷総合支所保健福祉課 大嶋係長  
講義「避難行動要支援者の見守りと在宅避難の備え」50分  
せたがや防災NPOアクション 宮崎猛志先生  
グループワーク「避難行動要支援者の見守りについて」45分  
各グループでテーマに沿った【平常時】と【災害時】の課題や行動できるアイデアを話し合った。各グループから内容を発表し参加者全体で共有した。

### 【平常時】(要約抜粋)

- ・危険場所の確認 ・家族の避難場所の確認 ・一時集合場所の把握
- ・近所の挨拶 ・身近な人の状況把握 ・知り合いを増やす ・避難計画の共有
- ・最近引っ越しされてきた方との交流 ・防災訓練に参加
- ・自宅建物内の防災 ・要支援者の自宅の家具転倒防止 ・在宅避難の準備
- ・食品のローリングストック 衛生用品の備蓄 ・要支援者の備蓄の点検
- ・自助の意味を広める ・災害時の支援の役割分担
- ・介護事業所としての防災設備の強化 ・学校の鍵保管

### 【災害時】(要約抜粋)

- ・ご近所での安否確認の声掛け ・安否確認の照らし合わせ
- ・要支援者への訪問 ・独居高齢者への声掛け・必要な支援の確認
- ・要介護者の薬の確認 ・家屋の確認
- ・支援が必要な人や事を情報伝達(行政・社協・あんすこ)
- ・介護サービス事業者への情報提供 ・事業者としての安否確認(BCPによる)
- ・福祉避難所との連携 ・町会と介護事業者との連携
- ・ワンちゃん猫ちゃんのことにも気になるので気遣いたい

**質疑要旨**

Q：震災時のガソリン備蓄が少ないが、無くなったらどうするのか。

A：協定を結んでいる石油商業組合世田谷支部へ支援要請し調達する。

**(6) 成果物**

別紙参照

**(7) アンケート結果**

別紙参照

# 5年度 防災塾

『避難行動要支援者への見守りと在宅避難の備え』

## せたがや防災NPOアクション

©2023 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## せたがや防災NPOアクション

せたがや防災NPOアクション

区内のNPO団体が、平時より顔の見える関係を築くとともに、発災時においてNPO団体同士の連携が図られるよう、ネットワーク化することを目的に、2014年5月に発足しました。ひっ迫する首都直下地震、激甚化する台風に備え、地域のみならず、私たちのまちを、災害に強い世田谷をめざし、一緒に活動する仲間を増やしていきたいと考えています。

- 活動テーマごとの分科会の実施－運営
- 全体会の企画・立案・実施
- 訓練（図上演習、情報連絡訓練）の実施
- 区内・区外の支援団体との関係づくり
- 防災塾、イベント・訓練等、地域の方との連携関係づくり
- 4者（区、社協、ボラ協、NPO）による連携体制への協力

○避難行動要支援者避難支援プランについて。

○避難行動とは。

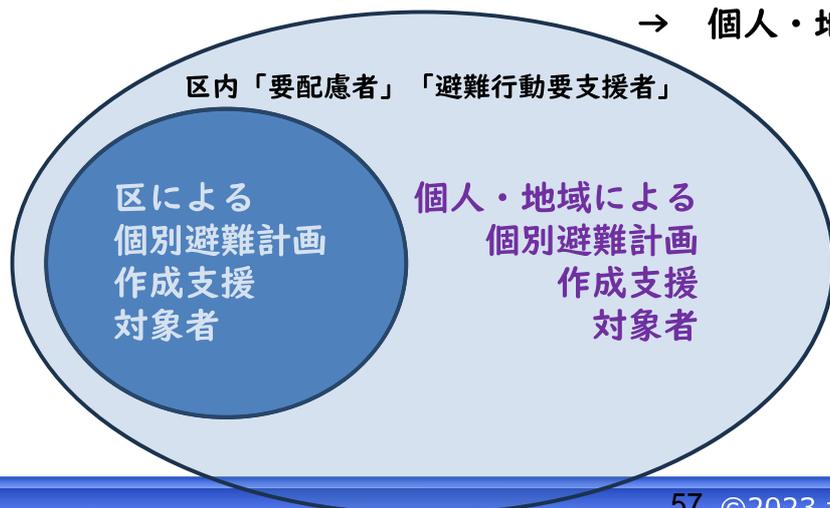
○在宅避難とその備えについて。

○避難行動要支援者への見守りについて。

世田谷区避難行動要支援者避難支援プラン

【概要】

- ▽「災害時要援護者」 → H25災対基本法改正「要配慮者」「避難行動要支援者」
- ▽「避難行動要支援者」 → 要配慮者のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者
- ▽区のプランでは → (支援すべき要配慮者のうち、発災直後の安否確認・避難支援において) 家族等以外の第三者の支援がなければ避難できない高齢者や障害者を中心とした避難行動要支援者を対象 → 個別避難計画の作成 (区)
  - 個人・地域でも対象となる方の作成支援を



- 令和4年4月 「世田谷区避難行動要支援者避難支援プラン」改定
- 令和4年度 多摩川洪水浸水想定区域内居住者の個別避難計画作成実施開始  
(現在新規対象者、未制作者に対してアプローチ中)
- 令和5年度 全区で震災時の個別避難計画の作成に向け対象者への調査開始
- 令和6年度 個別避難計画送付 以後、新規対象者の作成、作成済み計画の更新



【避難行動要支援者対象者名簿登録者】  
※区内該当者 8,460名 (令和5年2月時点)

- ①要介護4又は5に相当するもの
- ②ひとり暮らしの高齢者又は高齢者のみ世帯で要介護3に該当する者  
(近隣に常時その者の様子を知り得る親族がいる者を除く)
- ③身体障害者手帳1級で次の種別に該当する者  
視覚、四肢、体幹、半身、両下肢、片下肢、移動、聴覚  
※聴覚障害は2級までを対象とする。
- ④愛の手帳1度又は2度の者
- ⑤精神障害や難病の者等のうち区長が特に必要と認めた者  
※精神障害や難病、医療的ケアが日常的に必要な者等は手帳の等級や疾病、症状等で一  
律に判断することが難しいため、名簿登載を希望する場合は自ら申し出ることとし、区  
はその者の状況等を勘案して判断する。  
なお、実施時期については、区内や関係団体等と具体的な対応を整理した上で実施す  
るものとする。

©2023 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 世田谷区避難行動要支援者避難支援プラン

### 【背景】

- ▽平成23年東日本大震災において：被災者全体の死亡者のうち65歳以上の高齢者が約6割を占め、障害者の死亡率が被災住民全体の死亡率の約2倍
- ▽近年でも、災害における全体の死者のうち65歳以上の割合  
令和元年台風第19号で約65%、令和2年7月豪雨で約79%が65歳以上

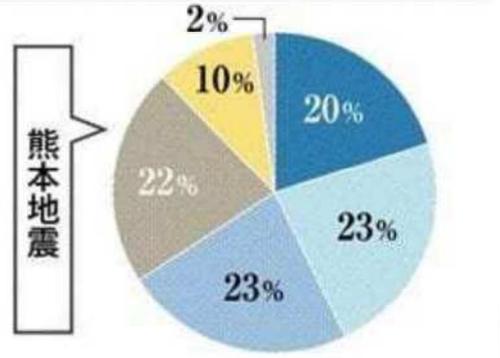
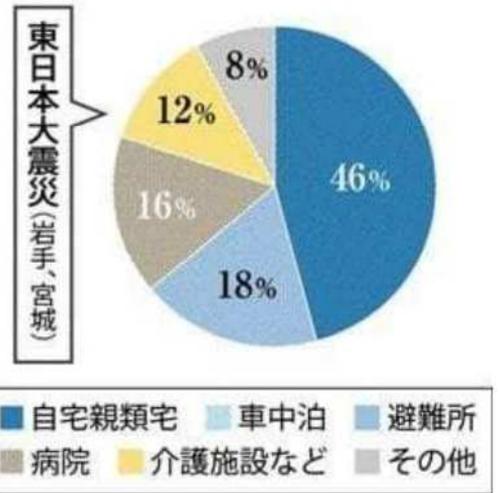
### 【直接死の防止と関連死の防止という2軸3属性の考え】

- ▽避難しなくても助かる人 = 自助の向上、啓発
  - ▽避難できれば助かる人 = 避難行動になる努力・自助
  - ▽助けがあれば避難できる人 = 避難行動を支援、計画作り。
- } 災害直接死防止
- ▽避難しなくても、避難できても、できなくても〈直接死〉は免れたのに、助からない人 = 見守り、安否確認
  - = 避難生活を支援
- } 災害関連死防止

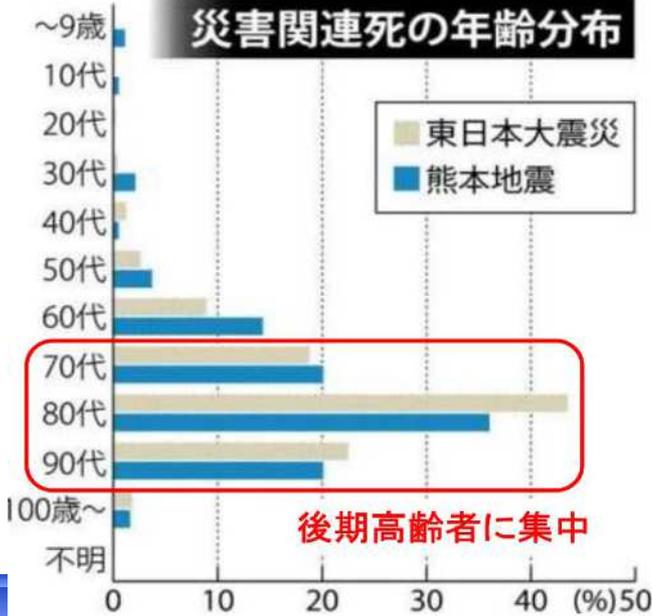
## 【生活環境の課題】

▽災害関連死の可能性：阪神 919人 (6,437人中)  
 東日本3,767人 (22,303人中)  
 2018年4月20日付 熊本 223人 (273人中)  
 熊本日日新聞朝刊掲載

## 震災関連死の発生場所



## 災害関連死の年齢分布



©2023 せたがや防災NPOアクション

# 防災における『共助』とは何か？

直接死を防ぐ

呼称	割合	内容	時間軸
自助	7割	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震補強、家具の転倒防止、日常備蓄</li> <li>立地によるハザードの確認</li> <li>避難情報収集、避難場所・ルート of 把握</li> <li>安否確認方法の確認、練習</li> </ul>	発災前
(近助)	2割	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難行動支援</li> <li>初期消火、救出救助</li> </ul>	※別解説 直後~1日
共助		<ul style="list-style-type: none"> <li>安否確認、避難生活支援</li> </ul>	1日~
公助	1割	<ul style="list-style-type: none"> <li>警察、消防、自衛隊による救出救助</li> <li>道路の啓かい作業、ライフラインの復旧</li> <li>行政による公的支援</li> </ul>	直後~ 3日~ 1週間~

間接死を防ぐ

○避難行動要支援者避難支援プランについて。

○避難行動とは。

○在宅避難とその備えについて。

○避難行動要支援者への見守りについて。

©2023 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 避難行動の前提

せたがや防災NPOアクション

脅威となる自然現象は何ですか？

地震、大雨、暴風、竜巻、雷、大雪・・・

想定する災害は何ですか？

住居被害、建造物崩壊、火事、洪水（内水氾濫型or外水氾濫型）、津波、がけ崩れ、法面崩落・・・

避難形態と外力の種類と状況

避難することで人的被害を軽減できるか  
時間の余裕または危険の切迫性との関係  
距離、水平+垂直移動

※地震の揺れ？津波？

※大雨の洪水？河川の決壊？土砂崩れ？

※各種警報？自己判断？



## 脱出と避難の違いを認識しよう

## 【水害の場合】

⇒事前避難＝情報収集と避難判断＋避難行動を想定した準備  
発災後はすべからく『脱出』

## 【地震の場合】

⇒予防防災（耐震、家具転）していないと『脱出』

していれば『避難』

⇒出火防止＞初期消火できないと⇒火災延焼＝『脱出』

“災害は映画ではない、脱出はほぼ失敗する”

だから『予防防災』＝『最大の自助』

## 対応防災（避難行動支援）

「立地と建物」リスクから、ベターな避難行動計画づくりを支援しよう。

## • 第一選択肢が

【逃げない】立地も建物もセーフティな場合

⇒ 避難生活支援でのサポートに移行

【逃げる】津波・高潮、土砂災害、氾濫流地域

※予報、警報で避難行動がとれるように設計

※リードタイムがある場合、避難行動支援も可能

## • 時間、場所、行程、移動手段について検討

※一週間の行動習慣のチェック

⇒ 長時間いる所から優先し「避難行動計画」を検討

⇒ 避難ルート、手段は数パターン準備

⇒ 家族との連絡方法、集合場所など検討

○避難行動要支援者避難支援プランについて。

○避難行動とは。

○在宅避難とその備えについて。

○避難行動要支援者への見守りについて。

©2023 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 皆さんにとっての避難所のイメージ せたがや防災NPOアクション

停電、断水していたとしても、

「津波で家が流されていない方は、在宅での避難生活を選択しています」

みなさんは、家が無事でも、この写真のような体育館でも、

避難所に入れてくれと言いますか？



## 『避難行動』と『避難生活』 この違いを意識しましょう！

### 【地震の場合】

家の周りはどうなっているの？・・・一時集合場所  
火事が起きて延焼が始まっている！・・・広域避難場所  
自宅が壊れて生活できない！・・・公設避難所

ここまでが『避難行動』  
ここからが『避難生活』

どこで『避難生活』を送りますか？  
自宅 or 避難所 or ???

©2023 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 災害に見舞われたら！どんなことが心配？

せたがや防災NPOアクション

火事が起きたらどうしよう！

家に帰れるのかな？

水とか食糧とかの備蓄がない！

避難所ってどこ？

家族の安否確認どうすればいいの？

停電したらどうすればいいの！

“家族構成”や“生活習慣”で、「困りごと」は変わります！

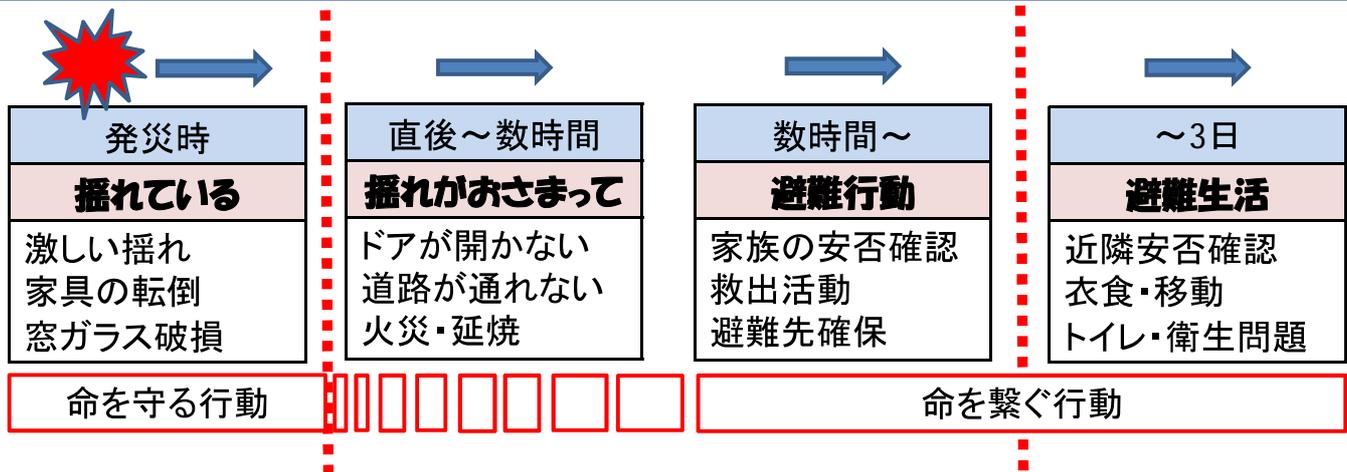
メガネが壊れちゃった！

持病の治療中なのに・・・

内定取り消されないかな？

お金おろしてない！生活費が・・・

どこまで「具体的」にイメージしていますか？  
大切なのは、「正しく恐れる」ことです。



個人(家族)として、地域(近所)として、  
それぞれの「困りごと」が、どの時点で一番問題になるのか？  
その環境でどの程度対応できそうか？  
それが備えの「優先順位」を決めることにつながります

## (在宅) 避難生活の質を担保するため

「在宅避難」生活、「事業所内避難」生活を想定した、避難生活計画づくりを支援しよう。

### 【ライフラインに対する備え】

- ・情報をどこからどうやってとるか。
- ・飲料水、食料は比較的早く支援される。ただし・・・。
- ・生活用水の確保は難しい。
- ・トイレ問題

- ・個別の必要物品の準備（補装具、医療や介護に必要な器具など）

※避難時、「家族等の連絡先」以外にも、「治療中の病気または障がい」「常用の薬と注意事項」「アレルギーの有無」「補装具等の器具名、メーカー名、不具合時の連絡先」「その他留意事項」が記載された“避難支援カード”があると便利。

## 【フェーズフリー】

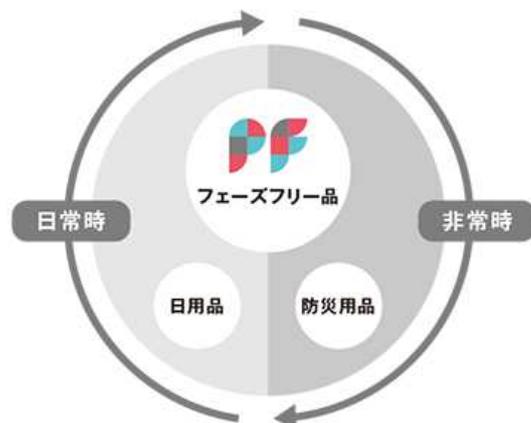
災害と日常生活という局面の垣根を取り払い、つまり「フリー」にして、どちらの局面でも役立つものをつくっていかうという考え方は。

防災用品のほとんどは、普段は仕舞っていて、非常時のみに取り出して使うものです。

フェーズフリー品は日常時のいつもの生活で便利に活用できるのはもちろん、非常時のもしもの際にも役立つ商品・サービス・アイデアです。

例えば

- ・かまどベンチ
- ・鞆になるジャケット
- ・バッテリー式自動車
- ・目盛付き紙コップ
- ・動物と津波の速さを比較する算数
- ・などなどなど。。。



©2023 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

# 家庭に必要な、実践的な備蓄物品とは？

せたがや防災NPOアクション

## 【家庭内備蓄の確認→ローリングストック】

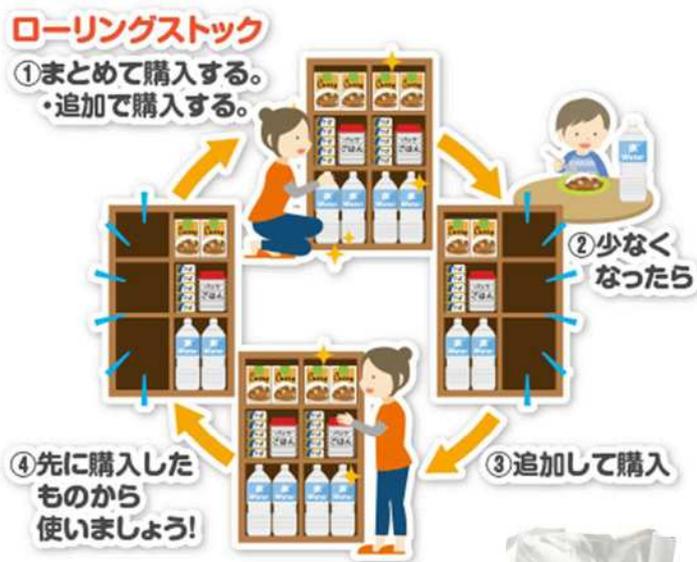
【ローリングストック】

▼水→飲料水

▼甘味

▼ご褒美的なもの

例：高級缶詰、スイーツ缶など



【卓上ガスコンロ、燃料】

ボンベ7年、コンロ10年



【アイラップ】

耐熱120℃、耐冷-30℃

※油ものNG



## 【避難生活の質を意識して】

### 【栄養バランス】

▼ビタミン剤、サプリメント、栄養補助食品

▼乾燥野菜



### 【トイレ】

▼においの漏れない袋

BOS 非常用トイレセットは「すぐに使えて臭わない」携帯トイレです



### 【情報ツールの維持】

▼モバイルバッテリー



### 【衛生】

▼消毒薬はノロウィルスに効くタイプ。

▼清拭用のシート。

▼下着、靴下の替えは多めに。

## 【選択肢を持つこと】

### 【在宅避難と分散避難】

「自主避難」・・・指定避難所以外の場所（自治会館、サロン場所、名主・庄屋）

「縁故避難」・・・友人、知人、親戚（短期が前提、風呂の貸し借りだけでも）

「疎開避難」・・・友人、知人、親戚（拠点を移すくらい長期を視野）

「車中避難」・・・場所選び含めて時限的、不活発病に注意

「庭先避難」・・・自宅敷地が広い場合の小屋、シェルターとして。



○避難行動要支援者避難支援プランについて。

○避難行動とは。

○在宅避難とその備えについて。

○避難行動要支援者への見守りについて。

©2023 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

## 安否確認と見守り支援

せたがや防災NPOアクション

### 安否確認 ≠ 救出・救助、脱出支援

安否確認とは、

「ある人が、生存しているかどうか、けがなどをしていないか、どこにいてどうしているか」

を確認することを指す。

つまり、倒壊家屋や家具の下敷きの方を救出したり、火災延焼から逃げながら、安全な場所まで連れて行ったり（脱出）することではない。

避難行動要支援者は「脱出行動」要支援者ではない。

## ◆水害(津波)の場合

避難行動の支援、垂直か水平か

タイムラインの意義

→リードタイムがある災害の場合安否確認と避難行動は同義語

## ◆地震の場合

命「直接死」の確認

脱出行為になるか避難行為になるか

脱出の場合＝救出・救助、初期消火・・・×安否確認

避難の場合＝家具転、家屋耐震、不燃化の場所での、家だと心細いから避難したいかたの誘導、同伴

→この場合のみ、安否確認＋避難行動が同義になる。

# 安否確認と見守り支援

行政が市民に期待する「安否確認」とは

発災直後の緊急期ではなく、混乱期、避難期、復旧期における

見守り、寄り添いによる（在宅避難者含め）災害関連死を予防するためのもの。

||

地域の「助け合い活動」

### 《平常時の活動例》

- 顔合わせ
- 定期的な把握
- マップの作成
- 避難訓練時の声掛け
- 個別支援カードの作成  
など

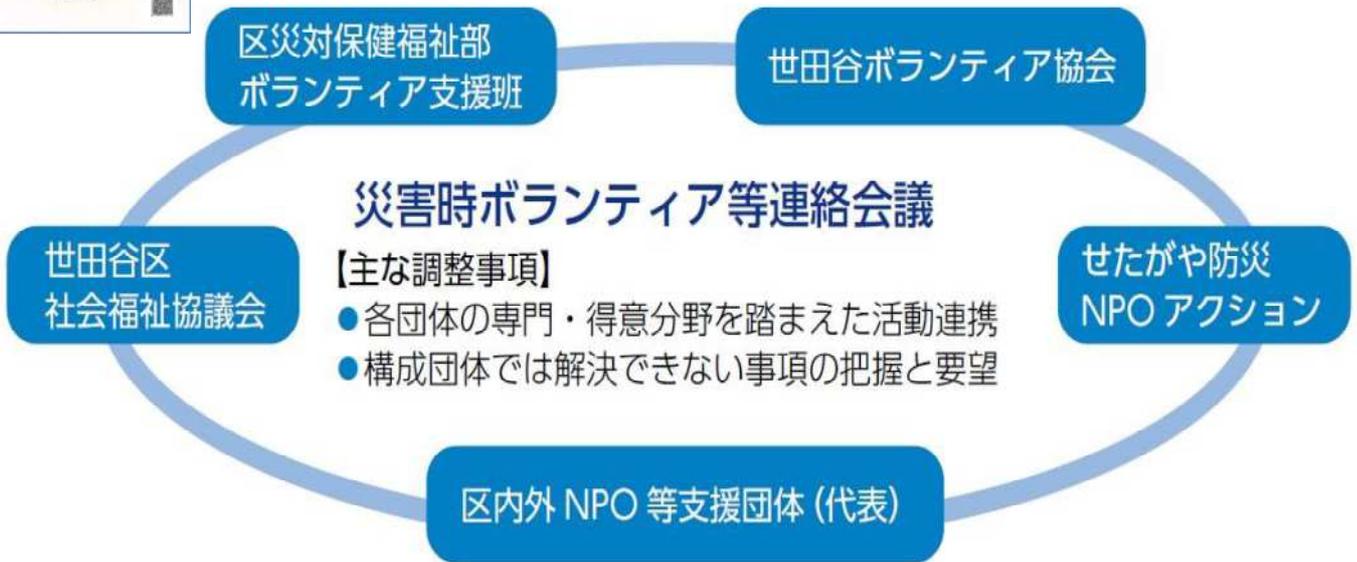
### 《災害時の活動例》

- 安否や身体状況等の確認
- 必要な支援の確認
- 周囲の状況や避難先等の伝達
- 必要な薬・用具等の確認
- 関係機関又は近隣住民等への援助要請  
など



「世田谷区地域防災計画」に、災害時のボランティア活動、NPO・市民団体等の支援団体間で、支援の抜け・漏れ・偏りをなくし、円滑に支援活動が行えるよう、情報の共有や連絡調整等を行う場を設置する。

【四者連携（図）】



©2023 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

せたがや防災NPOアクション

せたがや防災NPOアクション



↑ 発災直後の体制

→ 支援体制が整った後



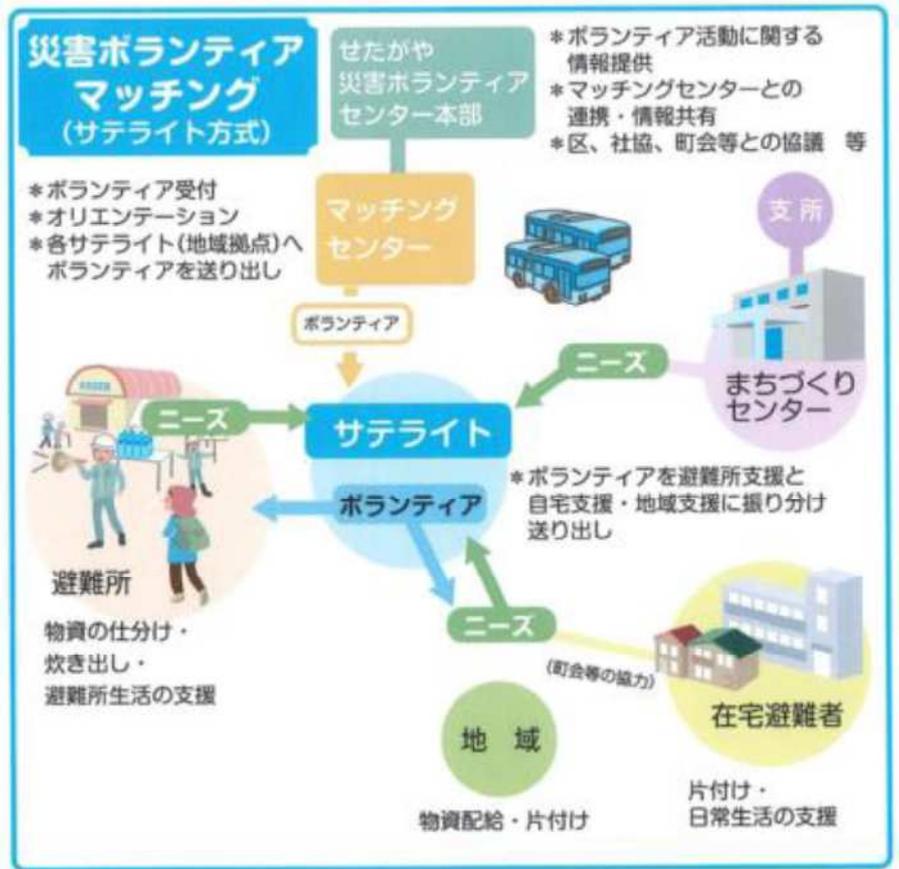
【災害時におけるせたがや災害ボランティアセンター】

世田谷区内で大災害が発生した場合、区の災害対策本部と連携を取りながら、直ちに「災害ボランティア本部」を立ち上げます。

そして区内5ヶ所の大学内にボランティアのマッチングセンターを開設し、災害発生から4日目をめどに「マッチングセンター」でボランティアの受入れを開始します。

さらに区内約90ヶ所の避難所ごとにマッチングセンターの「サテライト」を開設します。

サテライトでは避難所・地域の被災者からのニーズ（要望）を集め、マッチングセンターから振り分けられたボランティアと活動をマッチングします。

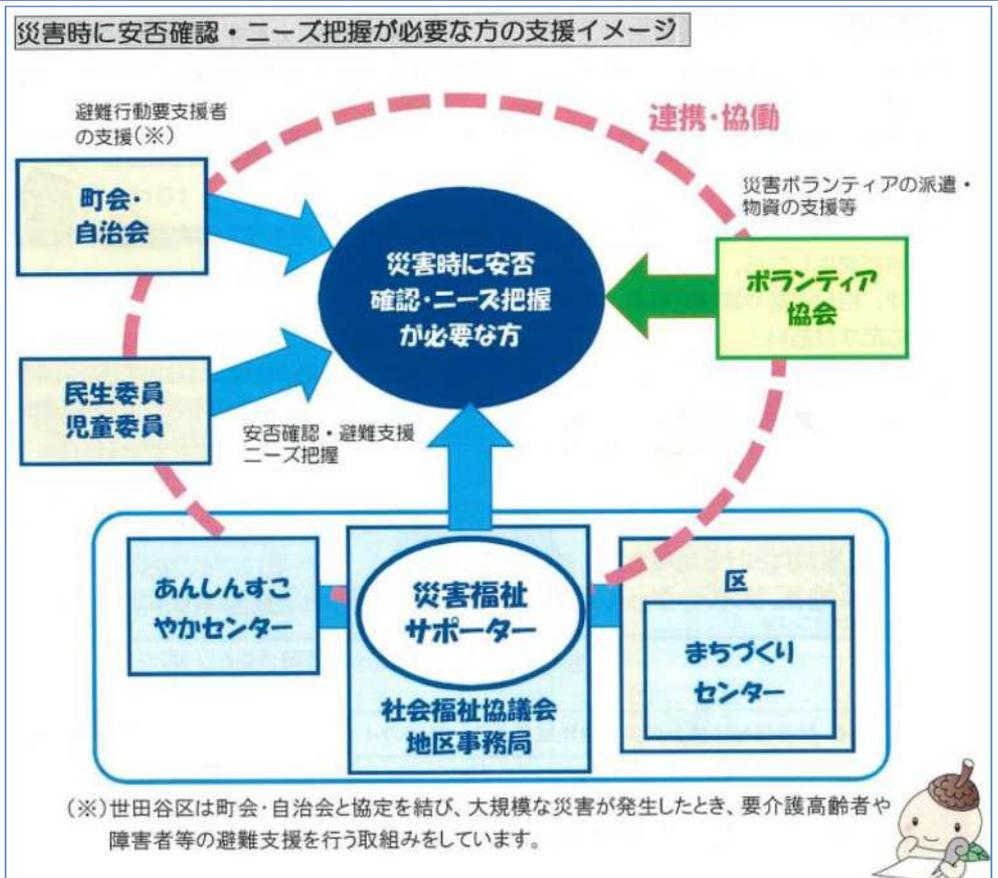


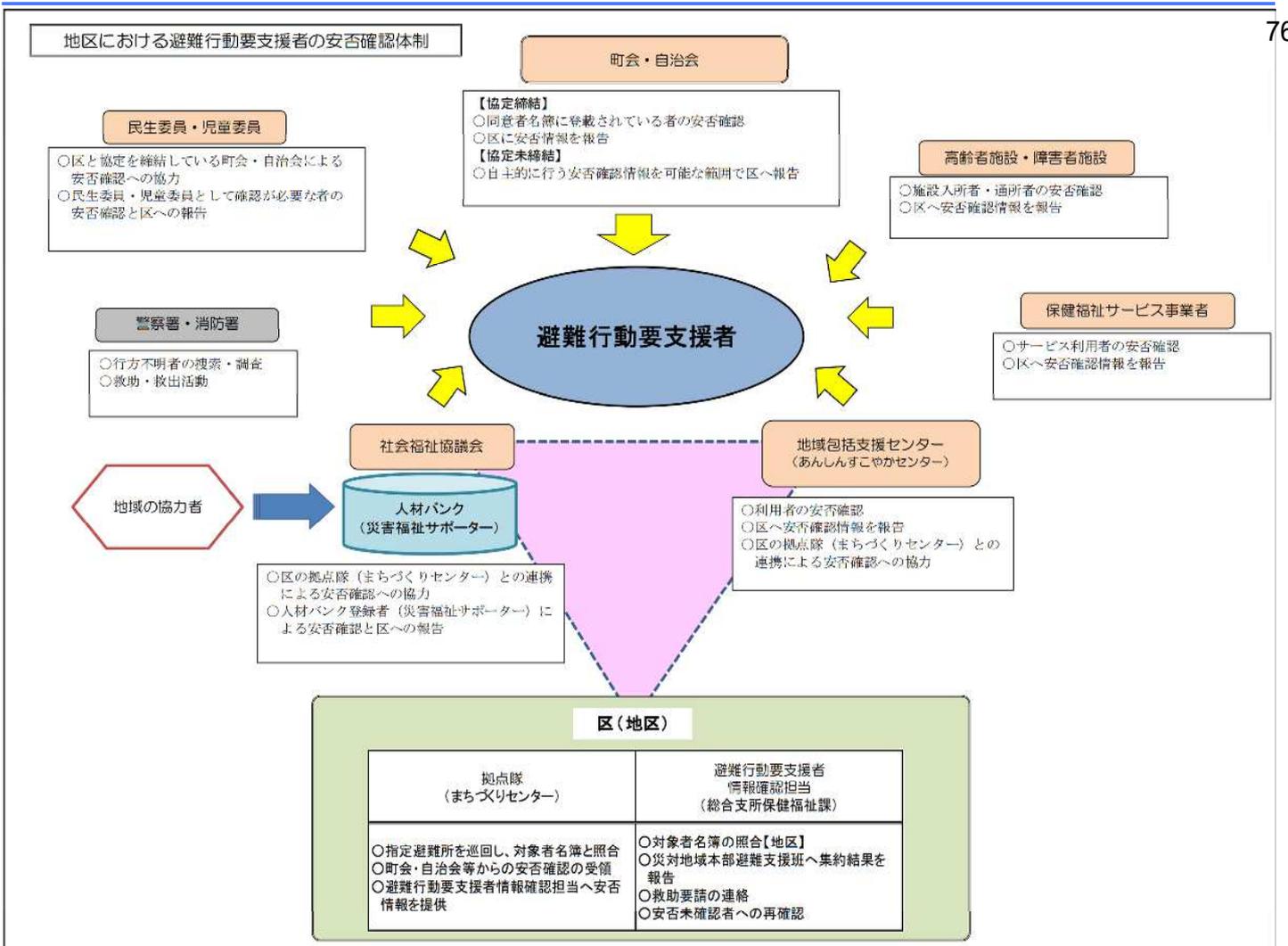
世田谷区社会福祉協議会

【地区サポーター（災害福祉サポーター）】

地域の皆さまに登録いただき、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンターと連携して、災害時に安否確認やニーズ把握が必要な方を支援する仕組みづくりをすすめています。

災害時に把握したニーズ等は、行政・ボランティア協会等に報告し、支援につなげていきます。

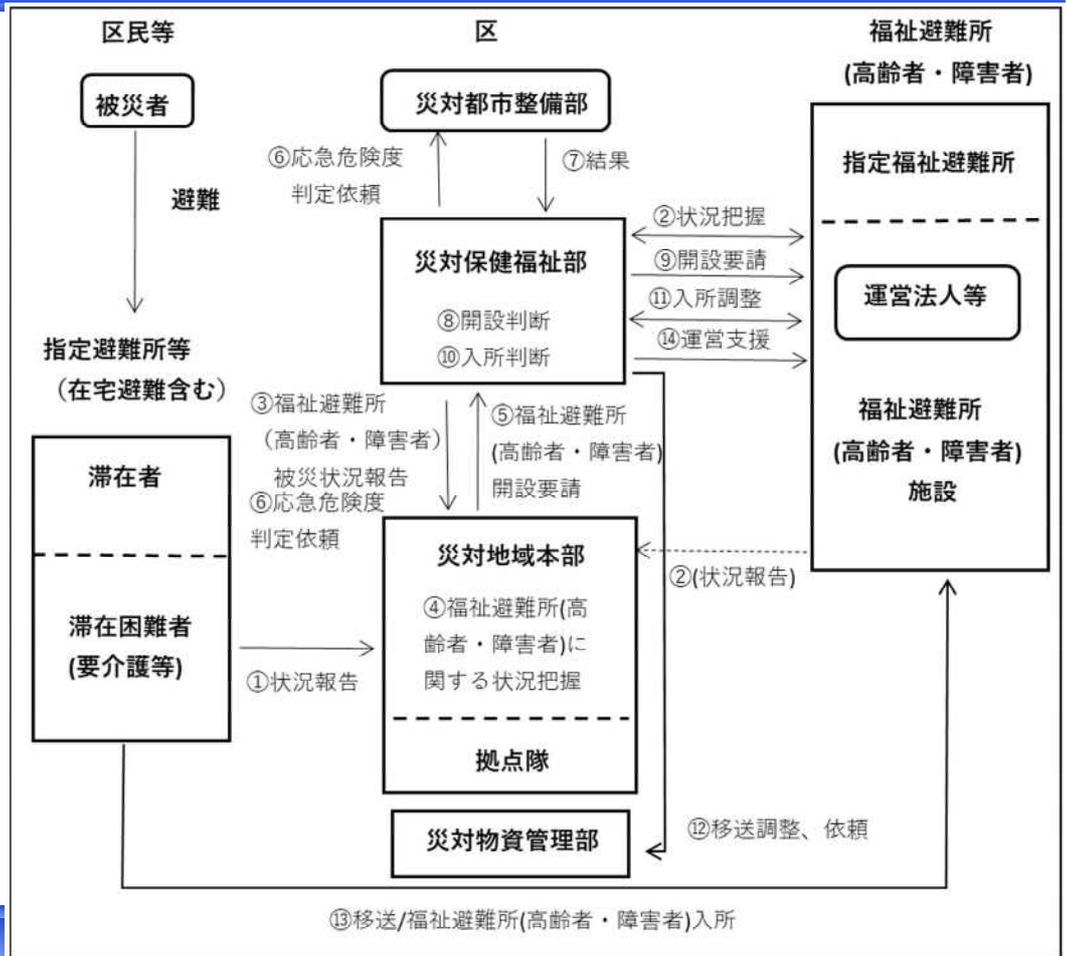
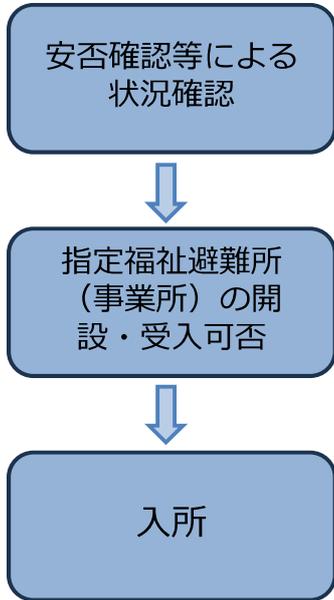




避難行動要支援者の安否確認情報の集約		発災～24時間	24～36時間	36～48時間	48～72時間
目標		安否確認の開始	安否確認情報の集約 安否未確認者の確認開始	安否確認情報の集約完了 安否未確認者の確認	引き続き安否未確認者の確認
区	災対保健福祉部 避難行動要支援者支援班 (保健福祉部、障害福祉部)	対象者名簿の外部提供の指示	状況報告【全区】	対象者名簿の照合・集約【地域】	状況報告【全区】
	災対地域本部 避難支援班 (総合支所保健福祉課)	避難支援者等への安否確認要請	状況報告【地域】	対象者名簿の集約【地域】	状況報告【地域】
	避難行動要支援者 情報確認担当 (総合支所保健福祉課)	避難支援者等への安否確認依頼	対象者名簿の照合【地区】	対象者名簿の集約完了【集約】	状況報告【地域】
	拠点隊 (まちづくりセンター)	地区の状況把握、避難所巡回等	対象者名簿の照合【地区】	対象者名簿の照合【地区】	<安否未確認者がいる場合> 安否確認
避難支援者等	指定避難所等	指定避難所内の避難行動要支援者の把握	指定避難所内の避難行動要支援者の把握	指定避難所内の避難行動要支援者の把握	
	町会・自治会	同意者名簿による安否確認	対象者名簿による安否確認への協力		
	地域包括支援センター (あんしんすこやかセンター)	<利用者等の安否確認> サービス利用者や訪問・見守り活動等を通じて把握している者の安否確認	[地域包括支援センター] [社会福祉協議会] 区の名簿照合等への協力	区の名簿照合等への協力	<安否未確認者がいる場合> 引き続き安否確認
	社会福祉協議会				<安否確認が完了した場合> 順次、災害時のそれぞれの活動に移行
	人材バンク登録者 (災害福祉サポーター)	<避難行動要支援者の安否確認への協力> 区から提供される対象者名簿による安否確認への協力			利用者の状況確認等
	民生委員・児童委員				福祉ニーズの把握等
保健福祉サービス事業者				区による安否未確認者の確認に協力 福祉ニーズの把握等 利用者の状況確認等	

※救出・救助が必要な場合は、消防署、警察署、区の拠点隊(まちづくりセンター)、消防団、区民防災組織等へ通報・要請する。  
 ※電話やFAX等の通信機器が使用できる場合は、避難支援者等から災対保健福祉部や災対地域本部に報告が入ることもあり得る。

【福祉避難所開所・入所】までの簡単な流れ



(令和4年3月時点) ※住所順

世田谷地域			さわやかはーとあーす世田谷		
避難所名	所在地		特別養護老人ホーム ラベニ子玉川	上川賀 4-16-11	障害
都立青鳥特別支援学校	池尻 1-1-4	障害	玉川福祉作業所	瀬田 4-5-5	高齢
ほほえみ経堂	経堂 3-6-24	障害	グループホームやまぼうし	玉川 1-7-2	障害
グランダ世田谷上町	桜 3-32-10	高齢	ニチイホーム用賀	玉川 4-13-7	高齢
特別養護老人ホーム ときわぎ世田谷	下馬 2-3-10	高齢	ガーデンテラス尾山台	シティコート二子 玉川 7号棟 101	高齢
下馬福祉工房	下馬 2-20-14	障害	東急ウェリナケア尾山台	玉川台 2-17-11	高齢
ケアセンターふらっと	下馬 2-20-14	障害	岡本福祉作業ホーム玉堤分場	玉堤 1-17-18	高齢
特別養護老人ホーム フレンズホーム	下馬 2-21-11	高齢	特別養護老人ホーム 等々力共愛ホームズ	玉堤 1-24-15	高齢
特別養護老人ホーム 下馬の家	下馬 2-25-8	高齢	玉川福祉作業所等々力分場	玉堤 2-3-1	障害
世田谷福祉作業所	下馬 2-31-6	障害	社会就労センター ツバキ焼き窯	等々力 1-24-11	高齢
アライブ世田谷下馬	下馬 6-29-22	高齢	高齢者住宅サービスセンター デイ・ホーム等々力	等々力 2-13-4	障害
メディカルホームグランダ三軒茶屋	太子堂 2-37-2	高齢	高齡者住宅サービスセンター デイ・ホーム等々力	等々力 2-36-13	障害
駒沢生活実習所	弦巻 2-1-5	障害	トラストガーデン等々力	等々力 5-19-11	高齢
トラストガーデン桜新町	弦巻 2-11-1	高齢	特別養護老人ホーム 等々力の家	等々力 7-22-12	高齢
特別養護老人ホーム さくらほうむ	弦巻 3-3-17	高齢	九品仏生活実習所中町分場	等々力 8-26-16	高齢
三宿つくしんぼホーム	三宿 2-30-7	障害	アライブ世田谷中町	中町 2-25-17	障害
あけぼの学園	三宿 2-30-9	障害	グランクレール世田谷中町	中町 3-5-23	高齢
にこにこみやさか	宮坂 2-26-17	障害	ウェルケアガーデン深沢	中町 5-9-9	高齢
Factory藍	若林 5-2-9	障害	特別養護老人ホーム 深沢共愛ホームズ	深沢 1-32-18	高齢
北沢地域			チャームプレミア深沢	深沢 1-32-21	高齢
避難所名			トラスガーデン用賀の杜	用賀 1-3-1	高齢
所在地			用賀福祉作業所	用賀 4-7-1	障害
すまいる梅丘			碓氷地域		
特別養護老人ホーム きたざわ苑			避難所名		
桜上水福祉園			所在地		
アライブ世田谷代田			ガーデンテラス碓氷公園		
まもりやま工房			大蔵 1-6-18		
東京リハビリテーションセンター			泉の家		
世田谷障害者支援施設梅ヶ丘			岡本 2-33-23		
介護老人保健施設 梅ヶ丘			岡本福祉作業ホーム		
都立光明学園			グループホーム花みず木		
白梅福祉作業所			岡本 2-33-24		
奥沢福祉園			特別養護老人ホーム 博水の郷		
九品仏生活実習所			碓氷工房分場キタミ・クリーンファーム		
グランクレール馬事公苑			特別養護老人ホーム 喜多見ホーム		
アライブ世田谷代田			特別養護老人ホーム 碓氷ホーム		
まもりやま工房			養護老人ホーム 友愛ホーム		
東京リハビリテーションセンター			友愛園		
世田谷障害者支援施設梅ヶ丘			世田谷更生館		
介護老人保健施設 梅ヶ丘			友愛デイサービスセンター		
都立光明学園			こぼ友愛		
白梅福祉作業所			碓氷工房		
奥沢福祉園			特別養護老人ホーム ハートハウス成城		
九品仏生活実習所			特別養護老人ホーム 成城アルテンハイム		
グランクレール馬事公苑			グランクレール成城		
アライブ世田谷代田			成城 3-2-9		
まもりやま工房			成城 6-13-17		
東京リハビリテーションセンター			成城 8-20-1		
世田谷障害者支援施設梅ヶ丘			成城 4-32-14		
介護老人保健施設 梅ヶ丘			特別養護老人ホーム ハートハウス成城		
都立光明学園			特別養護老人ホーム 成城アルテンハイム		
白梅福祉作業所			グランクレール成城		
奥沢福祉園			成城 3-2-9		
九品仏生活実習所			成城 6-13-17		
グランクレール馬事公苑			成城 8-20-1		
アライブ世田谷代田			成城 4-32-14		
まもりやま工房			特別養護老人ホーム ハートハウス成城		
東京リハビリテーションセンター			特別養護老人ホーム 成城アルテンハイム		
世田谷障害者支援施設梅ヶ丘			グランクレール成城		
介護老人保健施設 梅ヶ丘			成城 3-2-9		
都立光明学園			成城 6-13-17		
白梅福祉作業所			成城 8-20-1		

# 福祉避難所について

避難所名	
避難所番号	

## 福祉避難所(高齢者・障害者)利用のための確認シート

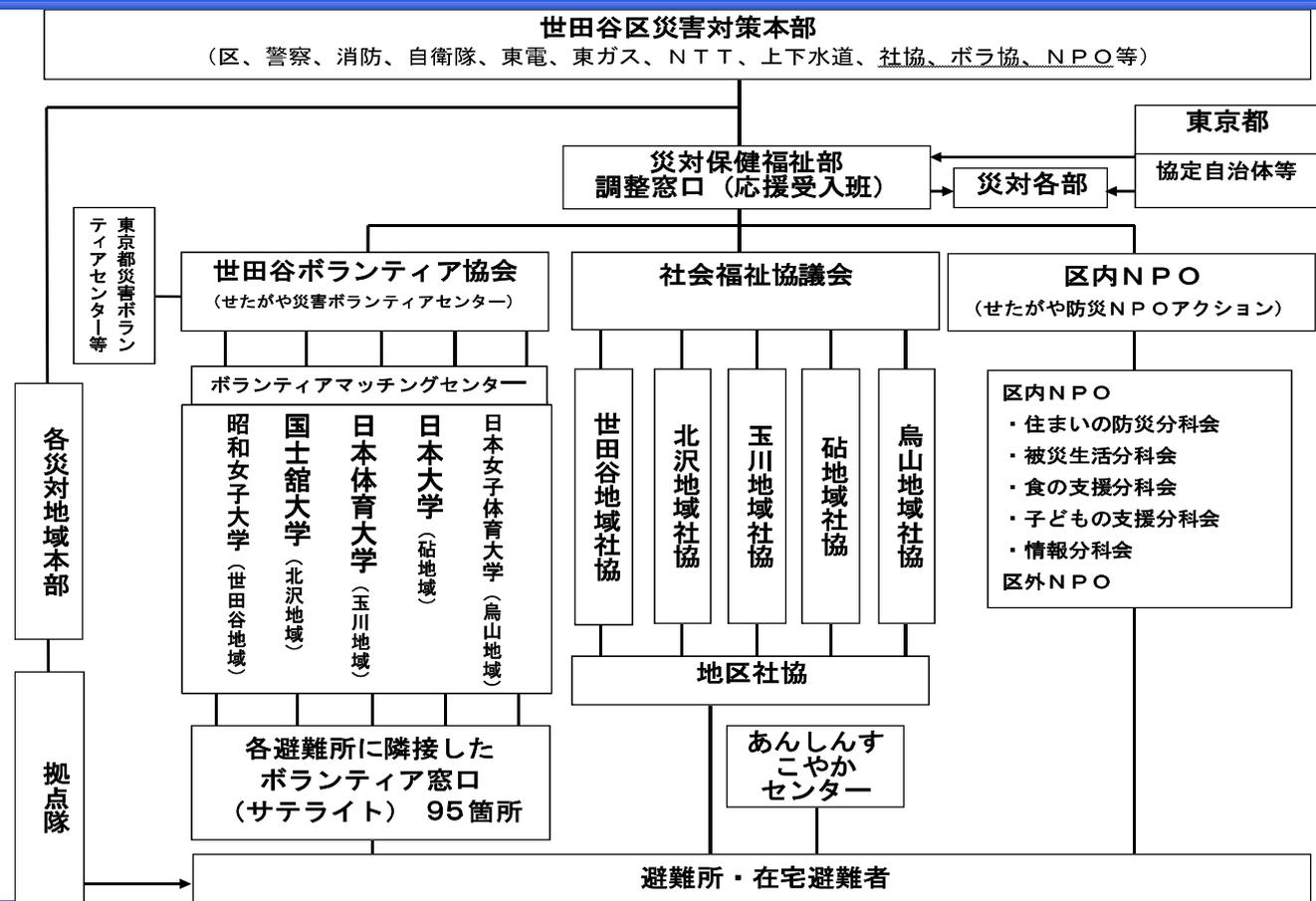
【福祉避難所(高齢者・障害者)協定施設一覧】  
 【福祉避難所(高齢者・障害者)利用のための確認シート(様式例)】

イータル成城	成城 8-27-11	障害
特別養護老人ホーム エリザベート成城	成城 8-27-24	高齢
わくわく祖師谷	祖師谷 3-21-1	障害
千歳台福祉園	千歳台 3-31-9	障害
おおらか学園	船橋 1-30-9	障害
特別養護老人ホーム 有隣ホーム	船橋 2-15-38	高齢
特別養護老人ホーム 第2有隣ホーム	船橋 2-15-38	高齢
ニチイホーム千歳船橋	船橋 3-19-14	高齢
障害者就労支援センターオキッぷ	船橋 5-33-1	障害
特別養護老人ホーム 世田谷希望丘ホーム	船橋 6-25-25	高齢
烏山地域		
避難所名	所在地	
ゆうらいふ世田谷	粕谷 2-8-5	高齢
特別養護老人ホーム 芦花ホーム	粕谷 2-23-1	高齢
特別養護老人ホーム 上北沢ホーム	上北沢 1-28-17	高齢
特別養護老人ホーム 寿満ホームかみきたざわ	上北沢 1-32-11	高齢
コインシアかみきた	上北沢 1-32-14	障害
サビエンス祖師谷	上祖師谷 4-20-13	高齢
ニチイホーム成城	上祖師谷 4-24-15	高齢
リハビリホームまどか上祖師谷	上祖師谷 6-7-15	高齢
ツクイ・サンシャイン成城	上祖師谷 6-29-19	高齢
特別養護老人ホーム 東京敬寿園	上祖師谷 7-1-1	高齢
烏山福祉作業所	北烏山 1-29-15	障害
ガーデンテラス久我山	北烏山 2-2-19	高齢
特別養護老人ホーム 久我山園	北烏山 2-14-14	高齢
都立久我山青光学園	北烏山 4-37-1	障害
特別養護老人ホーム フォーライフ桃郷	北烏山 7-8-11	高齢
給田福祉園	給田 5-2-7	障害
特別養護老人ホーム せたがや給田乃杜	給田 5-3-5	高齢
特別養護老人ホーム 千歳敬心苑	給田 5-9-5	高齢
ニチイホーム八幡山	八幡山 1-19-18	高齢

平成 年 月 日記入	
ふりがな氏名	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 生年月日 年 月 日( 歳)
住所・連絡先	世田谷区 TEL ( ) <input type="checkbox"/> 不明
要介護・障害認定	<input type="checkbox"/> 介護認定あり → 要支援・要介護 <input type="checkbox"/> 介護・障害等認定なし <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 級 <input type="checkbox"/> 愛の手帳 度 <input type="checkbox"/> 精神保健手帳 級 <input type="checkbox"/> 不明
既往歴	病院 ( ) / ケアマネ事業所 ( ) <input type="checkbox"/> 心疾患 <input type="checkbox"/> 脳血管疾患 <input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 服薬 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
施設利用状況	<input type="checkbox"/> 通所施設を利用している (施設名 ) <input type="checkbox"/> 利用していない
介護者	<input type="checkbox"/> いる [ 配偶者・子・子の配偶者・父母・兄弟姉妹・その他 ( ) ] 介護者氏名 (介護者の状況 ) <input type="checkbox"/> いない (本人の単独行動等に <input type="checkbox"/> 支障がある <input type="checkbox"/> 支障はない)
生活上の支援	移動 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 (備考 ) 食事 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 (備考) <input type="checkbox"/> 常食 <input type="checkbox"/> きざみ食 <input type="checkbox"/> ミキサー食 <input type="checkbox"/> おかゆ 排泄 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 (備考) <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> オストメイト 着脱 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 (備考)
避難所での本人の状況	【医療的ケアの状況(ある場合)】 <input type="checkbox"/> 経管栄養(胃ろう) <input type="checkbox"/> 尿カテーテル <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 痰吸引 <input type="checkbox"/> 服薬の必要性 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> インシュリン注射 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 【精神状況等】 <input type="checkbox"/> 大声を発する <input type="checkbox"/> 他害行為 <input type="checkbox"/> 自傷行為 <input type="checkbox"/> 夜間せん妄 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> その他 ( )
その他特記事項	※避難所での注意事項、福祉避難所(高齢者・障害者)に移送後の施設側に必要な物品等を含む。
本人(又は介護者)の意向	福祉避難所(高齢者・障害者)に <input type="checkbox"/> 移りたい <input type="checkbox"/> 移らなくても大丈夫 <input type="checkbox"/> 分からない <input type="checkbox"/> その他 ( )
福祉避難所(高齢者・障害者)利用の必要性	1 判定(「生活上の支援」、「避難所での本人の状況」等による) A 福祉避難所(高齢者・障害者) B 医療対応 C 経過観察 【a 緊急(短期)入所・b その他】(理由) 2 移送施設及び移送方法 3 その他
作成者	(所属) 連絡先 ( ) (氏名)

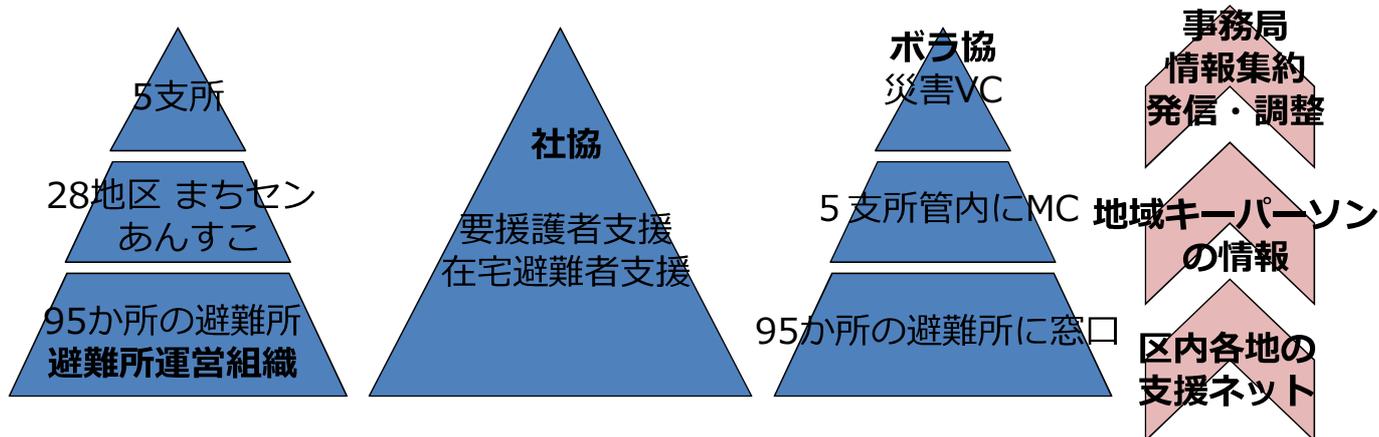
# 世田谷区支援体制図

せたがや防災NPOアクション



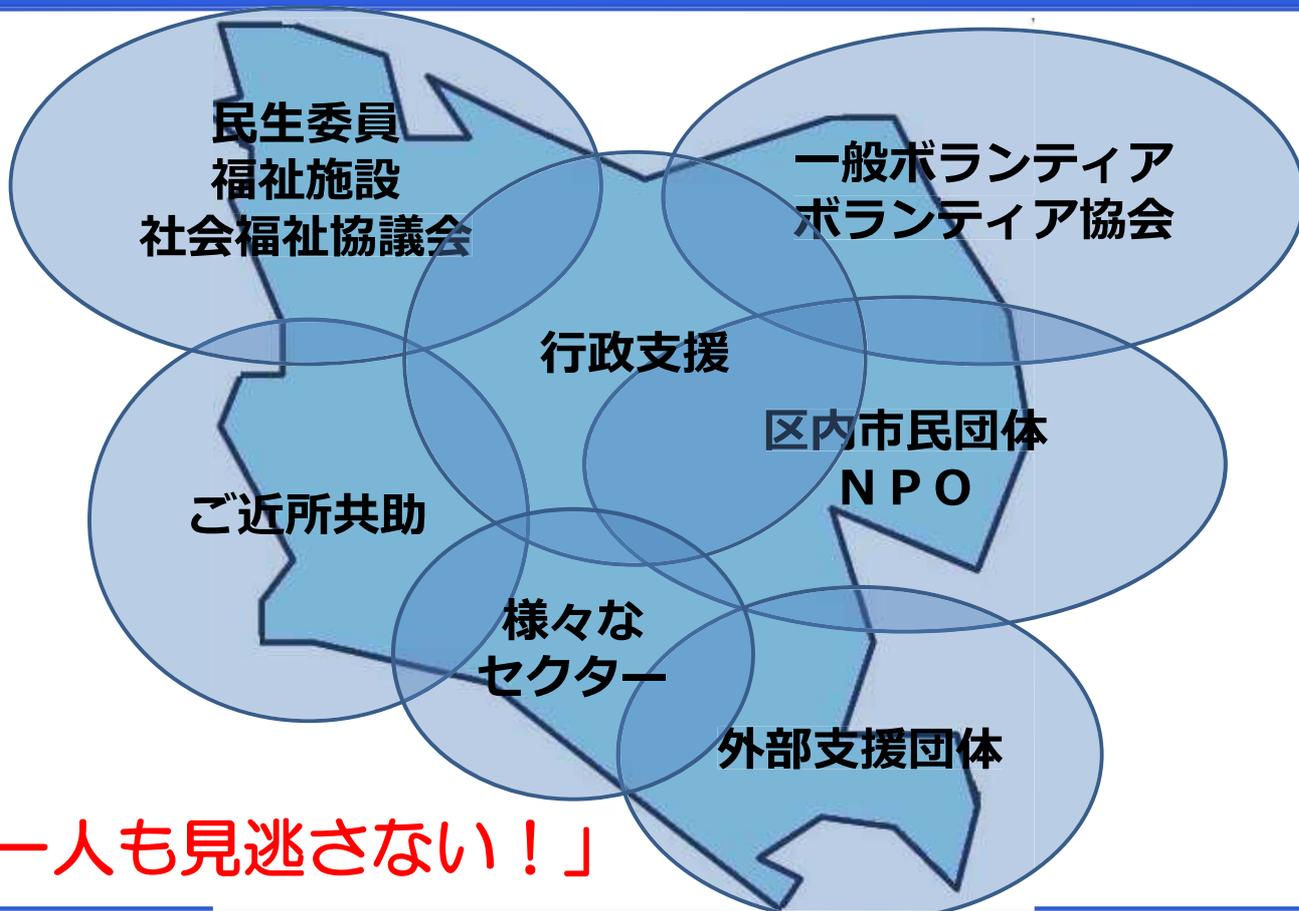
- 4者（区、社協、ボラ協、NPO）によるボランティア部会
  - 災害時のボランティア活動の「かたち」づくり
  - 地域防災計画に反映

世田谷区、または災害対策本部



地域での支援活動（町会、自治会、〇〇会、〇〇委員、そしてNPO）+ 当事者（家族）

## 支援の抜け、漏れ、偏りをふせぐ



「一人も見逃さない！」

## 見えやすい困り事

- ・妊産婦、乳幼児・・・母子避難所の案内は？
- ・障害者、要介護者・・・福祉避難施設への移送は？人数は？
- ・持病のある方・・・診察可能な病院や処方薬の入手方法は？
- ・外国人・・・宗教上の課題は？相談窓口は？=どこにつなぐ？

## 見えにくい困り事

- ・公的支援プログラム情報がわからない、罹災証明って？
- ・家の中の片づけは？
- ・子供を持つ世帯のどのくらいがアウエー育児か？
- ・食物アレルギー、アナフィラキシー既往症の方は？
- ・内疾患、精神疾患、普段は薬で対応できていた方は？
- ・装身具や介護器具等の不具合は？
- ・プライバシー保護、性犯罪防止、治安を守るためには？
- ・ジェンダーギャップやLGBT理解は？・・・etc

©2023 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

# 被災者支援拠点を支援する

せたがや防災NPOアクション

避難所・被災者支援拠点の運営にかかわる方々、外部支援を頼ってください。

「誰が、何に困っているか」という個人情報はいりません。

「どんなことに困っている人が、何人くらい、いつまでにどれだけ増え・減りそうか」というニーズ情報をください。

世田谷が被災したときの外部支援団体の窓口は  
**「せたがや防災NPOアクション」**が担います。

拠点は、世田谷線山下駅隣接の「たまでんカフェ山下」  
電話番号：03-5426-3737 FAX：03-5426-3738  
(平時はFAX専用、発災時は電話回線としても使用)

## グループワーク

### 「避難行動要支援者への見守りについて」

©2023 せたがや防災NPOアクション 無断転載禁止

◆名簿：共有(協定済み、独自支援)・未共有 ◆支援者：いる・いない ◆顔合わせ：済・未 ◆避難ルート決め：済・未 ◆地域内連携：済・未

#### 1. アクションプラン構想を考えよう

自宅

避難場所

まちせん

《平常時の活動例》+ 自助力向上支援

- 顔合わせ
- 定期的な把握
- マップの作成
- 避難訓練時の声掛け
- 個別支援カードの作成
- 家具転倒防止など

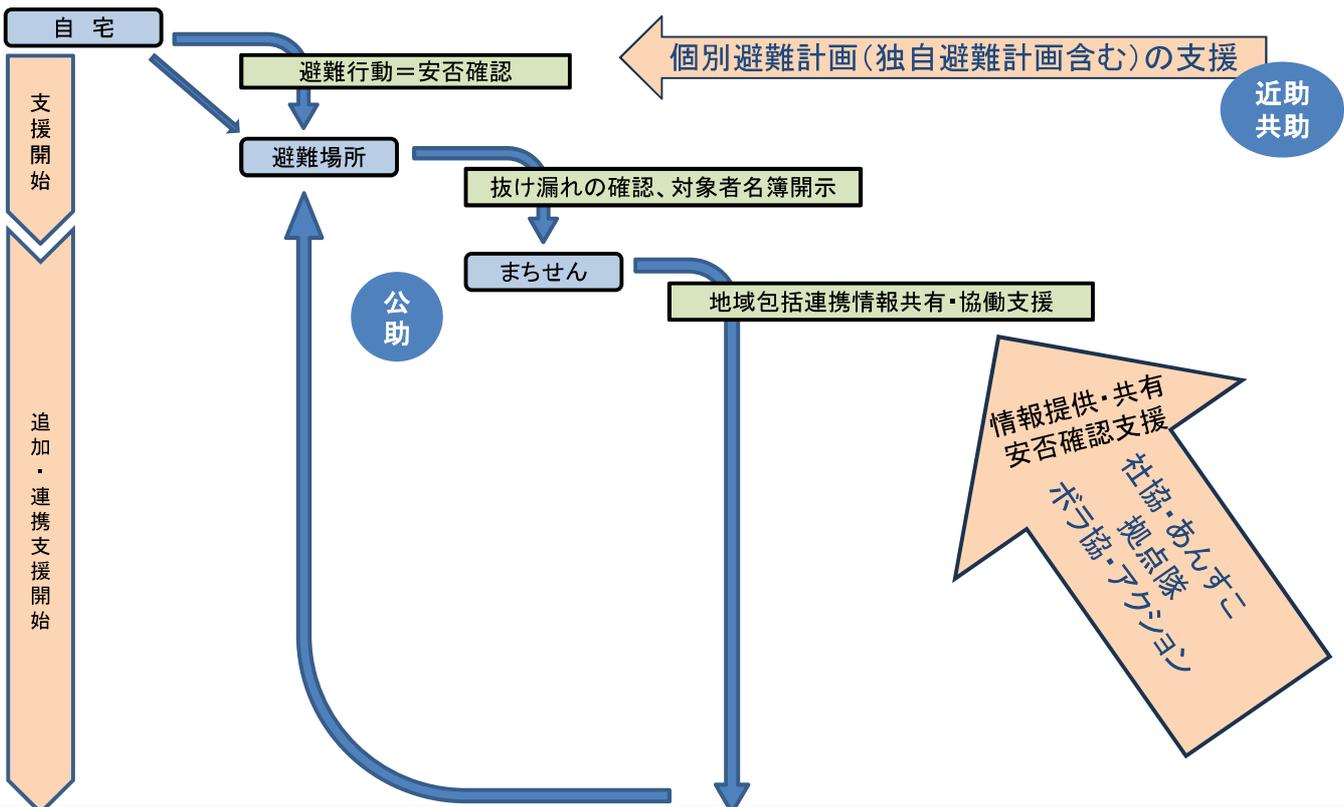
《災害時の活動例》

- 安否や身体状況等の確認
- 必要な支援の確認
- 周囲の状況や避難先等の伝達
- 必要な薬・用具等の確認
- 関係機関又は近隣住民等への援助要請など

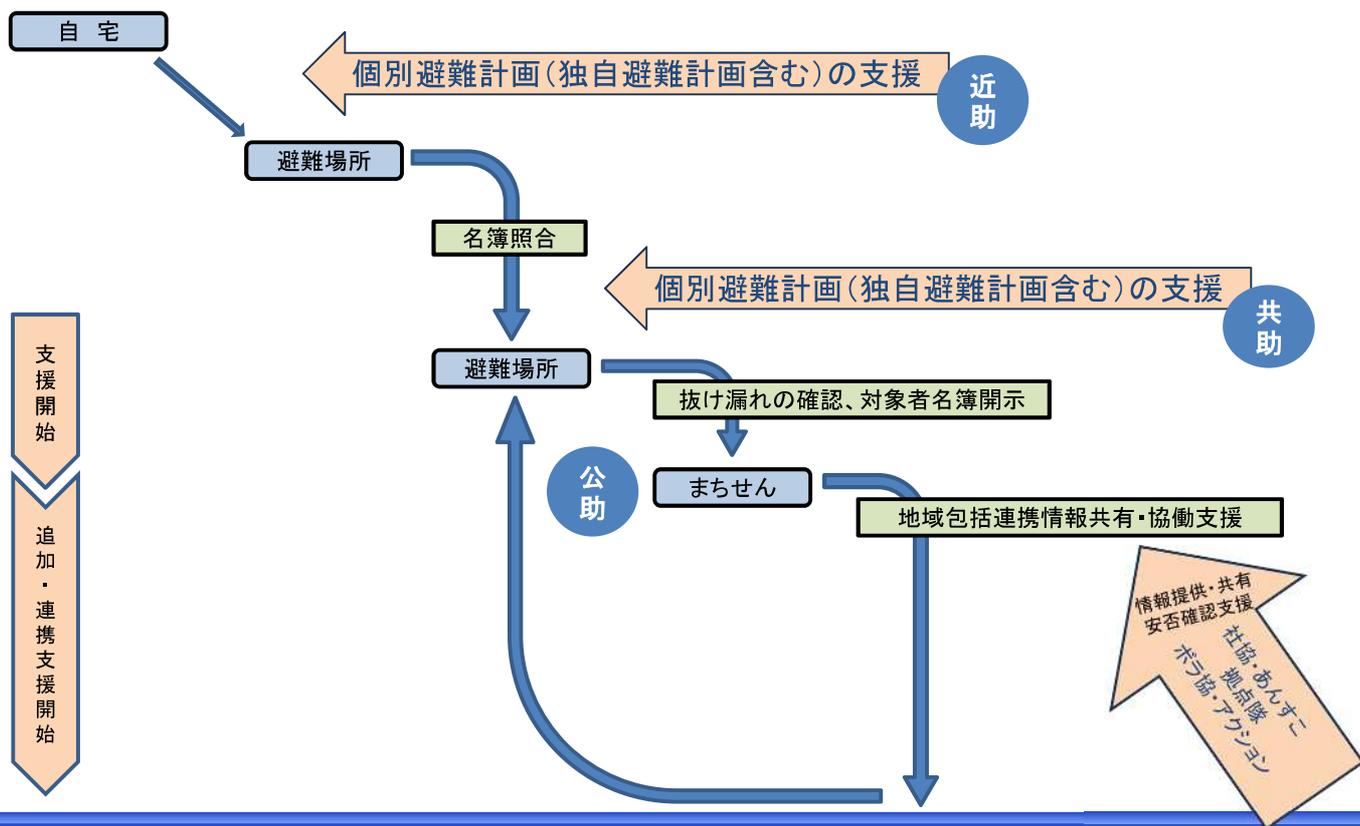
## フロー説明 パターン1

せたがや防災NPOアクション

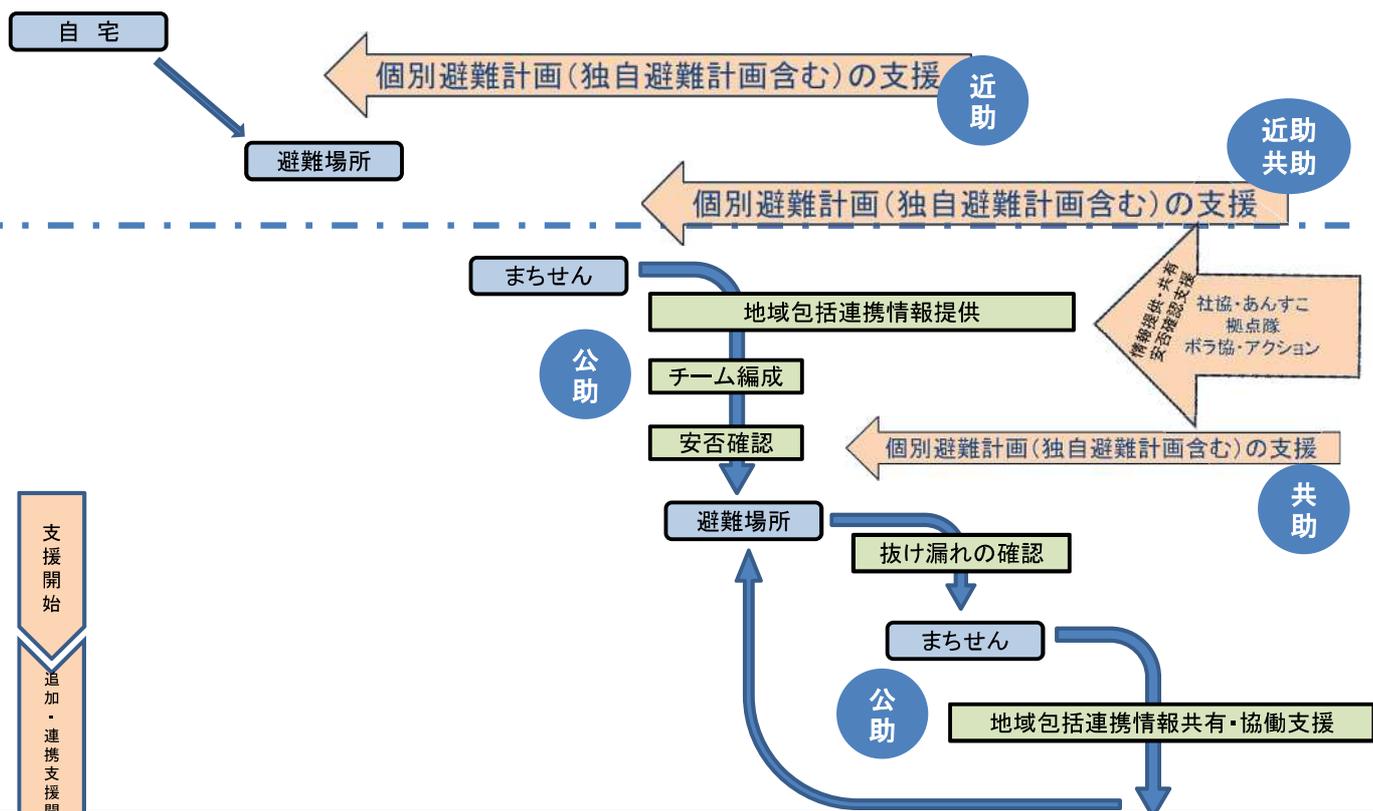
### ◆名簿共有(独自支援)、支援者いる、顔合わせ済み(避難ルート決め済み)



## ◆名簿共有(協定済み)



## ◆名簿無し(協定未締結)



## 令和5年度 経堂地区防災塾アンケート集計

1 本日の講習内容についてはいかがでしたでしょうか？

- ・ 大変勉強になりました。家に帰ってもう一度読み返したいと思います。
- ・ とても良い勉強になりました。自宅に帰ってまず、まわりを見て改善すべき事などを改めて考えてみたいと思います。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ 講習内容はとても良かったです。今後、自分のため、地域のために考えを深めて行動したいと思う。この様な講習は、地域住民(町会員)の方々にこそ聞いていただきたいと思いました。
- ・ とても参考になりました。個別避難計画等、知らない事が多かったので。
- ・ 宮崎先生の話をお伺って、思っていた避難行動が違っていた事を知れた。自助がとても大切であると思いました。
- ・ 内容はすごく良く、時間が足りない。
- ・ 宮崎先生のお話、何度か聞いていますが、経験に基づかれていて、分かりやすく課題がよく見えます。
- ・ 良かったです。
- ・ 各地域の状況も分かり、大変良かった。
- ・ 避難と脱出の違いについて認識を新たにできた。
- ・ ためになった。分かりやすかった。
- ・ 宮崎さんの内容、濃すぎて理解が追いつきませんでした。でも、大変ため

になりました。

- ・ 自分の身を守ってから周囲の援助。ちょっと救われた気がしました。
- ・ はじめて防災塾に参加させていただきました。今まで何も考えていませんでしたが、被災前・避難・脱出、全てやる事が違うという事。今まで全部ひくくめて避難だと思っていたのですが、そんなところから今後の行動を考えていかななくてはと思いました。
- ・ ストック用品について再認識しました。地域でまとまる大変さをあらためて感じ、我が身の力不足を感じています。
- ・ 自分自身の身のふり方を考えました。とても良かったです。
- ・ 講義では、多くの誤解されやすい点を整理していただき、大変ありがたく思いました。また、グループワーク等では各地域の悩みが共有され、近所・地域のネットワーク作りの重要性を再認識いたしました。
- ・ 問題提起してくださり、ありがとうございます。平時の備えをどうしていくのか、学校教育等で伝えていくことも大切と。また、町内会というすばらしい組織をどう利活用していくのかが防災力を上げる要と思いました。
- ・ 課題の多さ大きさに、あらためて直面した。

## 2 今後の防災講習で受講してみたい内容がありましたら教えてください

- ・ 今日続き、グループワークの補足を考えたい。
- ・ 災害ボラセンの話、詳しく聞いてみたいです。
- ・ 事例 実際のシュミレーション

- ・在宅避難について
- ・具体的な避難所開設の訓練

### 3 ご意見(自由意見)ございましたらお願いします

- ・町会でも、もっと本腰を入れて取り組む課題と思っています。難しい事を考えずに出来る事からと思います。
- ・とても難しい課題でした。
- ・行政のシステム等、あまり目にしないので知る機会がもっとあればと思います。家族に要介護者がいますが、情報はあまり入ってきません。
- ・とても勉強になりました。
- ・社協としての参加が無かった事。時間が足りないと思います。
- ・避難所となる学校関係者も入るといいと思います。
- ・ありがとうございました。
- ・大変参考になりました。
- ・ご近所と日ごろ顔見知りになり、仲良くする事が大事と思っているが、若い人、特に新しい建売に引っ越してきた人は町会に入る事も渋々で、意識が低いのが残念。
- ・新たに自覚が強くなりました。支援する方より、自分が支援される側に立つて考える必要を感じました。近所づきあい重要。家族の話し合いの必要性を感じました。

- ・区の要支援者の制度が、どうもうまく回っていないのをいつも感じる。
- 住民側と、受ける町会側の受け取り方の差がいつまでたっても埋まっていな  
い気がする。毎回地元の方とグループになって、いろいろ話が聞けるのでい  
いと思います。
- ・周囲の状況を把握するとか大事。
- ・防災塾はいつまでやるのですか？避難所運営マニュアルが更新されれば  
終わる予定ではないですか？
- ・参考になりました。ありがとうございました。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・町会、商店街、ボランティア、学生さん等々、多様な方向から関わりあう  
方々と意見、情報交換できるこうした機会をより充実させていただきたく、お  
願いします。
- ・名簿の話が多く出ました。マイナンバーカードの利活用は？と考えました。  
町内会をつなぐ何かがあればと思いました。

☺ご協力いただき、誠にありがとうございます。おつかれさまでした

## 防災塾 実施報告

世田谷総合支所地域振興課  
下馬まちづくりセンター

- ( 1 ) 実施日 令和5年11月18日(土曜日)午前10時～午前11時45分
- ( 2 ) 場所 下馬区民集会所
- ( 3 ) 参加人数 50名  
(町会・自治会27名、地域団体15名、一般参加者(公募)8名)

( 4 ) テーマ 発災後72時間は地区の力で乗り切る

( 5 ) 実施内容

開会挨拶

下馬地区町会自治会連合会会長 田嶋 宏  
世田谷総合支所長 加賀谷 実

講演

テーマ：「在宅避難と避難所のあり方」  
～避難生活を自宅で乗り切る～

講師：せたがや防災NPOアクション 宮崎 猛志 氏

質疑応答

( 6 ) 成果物

- ・写真
- ・アンケート



講習会の様子



講習会の様子

防災塾アンケート用紙（とりまとめ）				日付 令和5年11月18日				
				地区 下馬				
<b>1-1) ご自身について（性別）</b>								
	①男性	②女性	③未記入等					
数	31	9	6					
<b>1-2) ご自身について（年齢）</b>								
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
数		1		5	5	7	17	7
<b>1-3) ご自身について（職業）</b>								
	①会社員	②公務員	③団体職員	④自営業	⑤パート・アルバイト	⑥専業主婦（主夫）	⑦無職	⑧その他
数	6	4	4	5	4	4	13	7
<b>2 今まで参加した防災塾の開催年度について</b>								
	①令和元年度（平成31年度）以前		②令和2年度	③令和3年度	④令和4年度			
数	15		16	17	21			
<b>3 防災塾に参加して、地域防災について十分な意見交換や議論ができたと思いますか。</b>								
	①十分できている	②ややできている	③どちらとも言えない	④あまりできていない	⑤まったくできていない			
数	10	16	8	5				
<b>4 上記の「3」の理由をご自由にご記入ください。</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>• それぞれ団体の取り組みを知る事が出来た。</li> <li>• 防災への意識が高い方達が参加していることから。</li> <li>• 知識を身につけることができた。</li> <li>• 意見交換や議論を行う時間はなかった様に感じた。</li> <li>• 北町会は、下馬団地、一般住宅が混在しているので、統一できない。</li> <li>• 現場での経験をお話された宮崎さんのお話は大変参考になりました。</li> <li>• 町会での訓練人数がらえた。</li> <li>• 町会内でのコミュニケーションが不十分、防災関係者だけが知っているような状況なので、もっと防災意識を高める工夫が必要だと思います。</li> <li>• 多くの方の参加があったこと。</li> <li>• グループワークがなかったため。</li> <li>• 知識を頂きました。</li> <li>• 質疑でさらに理解が深まったから。</li> <li>• 講義の内容はとても参考になり、興味深いものでした。意見交換、議論の場は今回のアジェンダでは時間が少なかったと思いました。</li> <li>• 時間の関係ではあるが、講義中心になっており、知識は十分得られたが意見交換や議論にはなっていなかったため。</li> <li>• 過去の被災地の状況の事例をまぜながら詳しく発災からの流れを知ることが出来ました。</li> <li>• 避難所がどうあるべきかを確認することができた。</li> <li>• 地域防災に対し、町内会の役割が大切なことが分かった。ただし、初動に関して、どう動いたら良いか、町内会で十分に準備をしておかないといけないと思った。以上が、未だにできていない。</li> <li>• 講演内容の幅が広すぎる</li> </ul>								
<b>5 防災塾に参加して学んだことや気づいたこと</b>								
		数			数			
①自分の地域でどのような災害が起こりうるかわかった。	8	⑤災害時の地域の課題が、地区住民の視点から具体化された。	15					
②自分の地域でどの程度の被害が発生するかわかった。	5	⑥地区のいろんな方のアイデアが集まって、自分たちでできる災害対策が講じられた。	8					
③災害時に自らがとるべき避難行動を理解することができた。	35	⑦参加した地域のいろんな方と関係性が作られた。	5					
④地域防災の考え方（住民の目線から課題と対策を検討する）を学ぶことができた。	32							

6 今後の希望する「防災塾」の進め方について					
	数		数		
①今までと同じく、ワークショップ形式のグループで議論	12	⑥行政の防災担当者により防災対策の実態に関する詳しい説明	13		
②課題や対策のテーマ別に関わる関係者だけがそれぞれ集まって具体的に議論	9	⑦防災専門の先生や被災対応経験者を招いた防災の工夫や事例に関する防災講演	28		
③よりコアな少数のメンバーが集まって地区全体の課題と対策をより具体的に議論	9	⑧地域の課題と対策について、いろんな地区住民から広く意見がもらえる会合	11		
④防災まちあるきや安否確認訓練などの体を動かす体験	13	⑨その他（町会ごとに今回のような講演会を開催して意識を高める。）	1		
⑤課題と対策のアイデアに関する他地区の防災活動の事例紹介	22				
7 地区防災計画制度がつけられたが、本制度の内容はご存知ですか。					
	数		数		
①地区防災計画作成のガイドラインを読んだことがある。	12	④言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない。	11		
②他所の地区で作成された地区防災計画を読んだことがある。	10	⑤全く知らない。	4		
③防災塾で説明を聞いたことがあり、ある程度は知っている。	9				
8 平成29年3月より、地区防災計画を区HPに掲載していますが、ご存知ですか。					
	①知っていた	②知らなかった			
数	18	13			
9 地区防災計画の今後の見直し・検証において、重点的に実施したいと思うこと					
	数		数		
①地域の課題に対し、防災まちあるきを通じた危険箇所や地域資源の発見と整理	18	④検討した対策の実現に向け、地区全体の具体的なルールづくりや担当決め	8		
②初期消火や要配慮者支援等の地域の課題別の防災マップ作成	9	⑤計画に記載している課題と対策に加え、より多くの住民視点からの課題と対策の追加	15		
③検討した対策の実現に向け、協力関係者への声かけと対策方法に関する話し合い	14	⑥避難訓練、消火訓練等、災害時の対策が実現できるか体を動かした検証（実践）	7		
＜その他＞・地域住民への全体的な場を！					
・防災訓練などの回数を増やす。住民参加を増やす。					
・町会活動への住民の無関心の状態を何とか変えて関心を高める。					
・地域と学校との防災活動の連携。（コロナで連携活動が中断している）					
10 防災塾に継続して参加したいと思いますか。					
	①継続して参加したい	②都合がつけば参加したい	③どちらとも言えない	④あまり参加したくない	⑤まったく参加したくない
数	26	6		1	
11 「防災塾」のご感想や「災害対策や地区防災計画」に関するご意見・ご要望など、自由にご記入ください。					
・平日頃より防災塾での情報が大いに役立っている。					
・今日のお話は良かったと思います。在宅避難の大半は、方法とかよく分かり良かったです。					
・何年前かに羽田のクロネコヤマトに行ったことがある。世田谷区にも早いうちにくると聞きました					
・大変具体的な内容で勉強になりました。この内容が、地域全体の常識になると素晴らしいと思います。					
・防災塾の回数をぜひ増やして頂きますようお願いいたします。					
・「在宅避難と避難所のあり方」について詳しく学ぶことができました。町内の今後の取り組みに役立てたいと思います。					
・毎回参加して防災について勉強になりました。町会でもいろんな人に参加してもらいたいと思います。意識することが大事です（協力すること）					
・宮崎様のお話がとても分かりやすく、具体的な場面を思い浮かべながら伺えました。特に物資の配分は初めて知ることも多く勉強になりました					
・地域で情報共有、顔つなぎすることが重要だと思います。今後も継続いただきたいと思います。					
・お声掛け頂き、ありがとうございました。引き続き様々な連携を取りながら参画していきたいと思っています。					
・大変ためになる話を伺うことができました。下馬地区にある学校ですので、地域住民の方への対応について、考えていくきっかけになりました。特に看板の準備は大切のように思います。					
・世代交代を考えて行きたい。					
・町会別に小さな集合体でもやってほしい。					
・日頃考えて生活しているが、とても参考が大きく、より理解出来た。					
・とても良かった。					

## 防災塾 実施報告書

世田谷総合支所地域振興課

上馬まちづくりセンター

- ( 1 ) 実施日 令和6年1月24日(水曜日)午前10時~午前11時20分
- ( 2 ) 場所 東京都下水道局発注 蛇崩川増強幹線工事現場(世田谷丸山公園内)
- ( 3 ) 参加人数 32人
- ( 4 ) テーマ
  - 発災後72時間は地区の力で乗り切る
  - 東京都の豪雨対策
- ( 5 ) 実施内容
  - 区あいさつ
  - 区「上馬地区防災計画」説明
  - 都下水道局「蛇崩川増強幹線工事」概要説明
  - 同工事現場見学
  - アンケート記入
- ( 6 ) 成果物
  - 写真







防災塾アンケート用紙（とりまとめ）									
								日付	令和6年1月24日
								地区	上馬
<b>1-1) ご自身について（性別）</b>									
	①男性	②女性	③未記入等						
数	4	5	1						
<b>1-2) ご自身について（年齢）</b>									
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
数					1	3	5	1	
<b>1-3) ご自身について（職業）</b>									
	①会社員	②公務員	③団体職員	④自営業	⑤パート・アルバイト	⑥専業主婦（主夫）	⑦無職	⑧その他	
数	1					5	3	1	
<b>2 今まで参加した防災塾の開催年度について</b>									
	①令和元年度（平成31年度）以前	②令和2年度	③令和3年度	④令和4年度					
数		1		2	2				
<b>3 防災塾に参加して、地域防災について十分な意見交換や議論ができたと思いますか。</b>									
	①十分できている	②ややできている	③どちらとも言えない	④あまりできていない	⑤まったくできていない				
数	2	4	3	1	1				
<b>4 上記の「3」の理由をご自由にご記入ください。</b>									
・今回初参加だった。勉強になったが、議論の時間はなかった									
・一方通行の講義。水害防止の取り組みはわかった									
・意見会や講習会が行われたりはしている									
<b>5 防災塾に参加して学んだことや気づいたこと</b>									
		数			数				
①自分の地域でどのような災害が起こりうるかわかった。		9	⑥災害時の地域の課題が、地区住民の視点から具体化された。		3				
②自分の地域でどの程度の被害が発生するかわかった。		4	⑦地区のいろんな方のアイデアが集まって、自分たちでできる災害対策が講じられた。		1				
③災害時に自らがとるべき避難行動を理解することができた。		6	⑧参加した地域のいろんな方と関係性が作られた。		2				
④地域防災の考え方（住民の目線から課題と対策を検討する）を学ぶことができた。		4							
<b>6 今後の希望する「防災塾」の進め方について</b>									
		数			数				
①今までと同じく、ワークショップ形式のグループで議論		4	⑥行政の防災担当者により防災対策の実態に関する詳しい説明		2				
②課題や対策のテーマ別に関わる関係者だけがそれぞれ集まって具体的に議論		2	⑦防災専門の先生や被災対応経験者を招いた防災の工夫や事例に関する防災講演		5				
③よりコアな少数のメンバーが集まって地区全体の課題と対策をより具体的に議論		3	⑧地域の課題と対策について、いろんな地区住民から広く意見がもらえる会合		2				
④防災まちあるきや安否確認訓練などの体を動かす体験		8	⑨その他（						
⑤課題と対策のアイデアに関する他地区の防災活動の事例紹介		6	）						

7 地区防災計画制度がつくられたが、本制度の内容はご存知ですか。					
	数		数		
①地区防災計画作成のガイドラインを読んだことがある。	2		④言葉は聞いたことがあるが詳しくは知らない。	5	
②他所の地区で作成された地区防災計画を読んだことがある。	1		⑤全く知らない。		
③防災塾で説明を聞いたことがあり、ある程度は知っている。					
8 平成29年3月より、地区防災計画を区HPに掲載していますが、ご存知ですか。					
	①知っていた	②知らなかった			
数	4	4			
9 地区防災計画の今後の見直し・検証において、重点的に実施したいと思うこと					
	数		数		
①地域の課題に対し、防災まちあるきを通じた危険箇所や地域資源の発見と整理	5		④検討した対策の実現に向け、地区全体の具体的なルールづくりや担当決め	1	
②初期消火や要配慮者支援等の地域の課題別の防災マップ作成	5		⑤計画に記載している課題と対策に加え、より多くの住民視点からの課題と対策の追加	3	
③検討した対策の実現に向け、協力関係者への声かけと対策方法に関する話し合い	3		⑥避難訓練、消火訓練等、災害時の対策が実現できるか体を動かした検証（実践）	7	
<その他>					
10 防災塾に継続して参加したいと思いませんか。					
	①継続して参加したい	②都合がつけば参加したい	③どちらとも言えない	④あまり参加したくない	⑤まったく参加したくない
数	4	5			
11 「防災塾」のご感想や「災害対策や地区防災計画」に関するご意見・ご要望など、自由にご記入ください。					
・自然のちからを最大限活用した対策をされるとよいと思う。浸透ますを増やすなど。うめとびあのような建物を増やすべき					
・本件工事に関係されている皆様に心より厚く感謝するのみです。自分の世界には関係なかったのでびっくりしました					
・大変勉強になりました。このような大変な工事があることを知りました。ありがとうございました。関係者の皆様ご苦労様です。					
事故のない様に					